## ○歯科補綴学1:625-3-DP1 • DP3 • DP4 • DP5 • DP7

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*河相 安彦(有床義歯補綴学)

学修目標	・単位数:10単位
(G I O)	・学修目標(GIO):咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心
と	理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する知識・
単位数	技能および態度を修得する。
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑤:有床義歯3回、クラウンブリッジ2回の平均:50%), 実習(補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価, 実技試験およびグループワーク、ポートフォリオの評価など:50%)を最終評価とする。 講義・実習いずれかが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。

## 歯科補綴学導入

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*河相 安彦(有床義歯補綴学)

学修ユニット 学修目標 (G I O)	咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する基本的な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*河相 安彦、*飯島 守雄、*伊藤 誠康、*大久保 昌和、*中田 浩史、*石井 智浩、*五 十嵐 憲太郎、*小出 恭代、*鈴木 亜沙子、*井上 正安、*小川 晃奈、*北村 彩、*木村 純、*古賀 麻奈花、*佐藤 佳奈美、*佐藤 貴信、*小川 貴大
教科書	無歯顎補綴治療学 第4版 市川哲雄・大川周治・大久保力廣・水口俊介 医歯薬出 版 ISBN 978-4-2 63-45868-6 歯学生のパーシャルデンチャー 第6版 赤川安正、岡崎定司、志賀博、横山敦郎 医歯薬出版 ISBN 978-4 -263-45817-4 クラウンブリッジ補綴学 第5版 矢谷博文ほか編 医歯薬出版 ISBN 978-4-263-45783-2 有床義歯補綴学ポートフォリオ令和4年度版 有床義歯補綴学講座編 有床義歯補綴学
参考図書	口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第2版 日本口腔顔面痛学会編 医歯薬出版 ISBN 978-4-26 3-44478-8 TMDを知る 改訂第2版 井川雅子 大久保昌和 ほか クインテッセンス出版 ISBN 978-4-7812-02 0 8 -2 新編 顎関節症 覚道健治ほか 永末書店 ISBN978-4-8160-1261-7
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑤(有床義歯3回、クラウンブリッジ2回)の平均:50%),実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価,実技試験およびPBLの評価など:50%)を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合,評価点は60点未満とする。また,講義・実習いずれかが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科医師の実務経験を活かし、歯科医療に関する歴史および倫理、社会との関連について説明する。

	日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時	2/04/12 (火)	海科補綴学1ガイ ダンス入・「遺みん」、「歯の欠病」による障害に 損によるで、病因と病態、症候	【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療を円滑に行うために必要な全部および部分無歯顎者の障害、病因・病態および加齢変化について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯科補綴学、補綴歯科治療の定義を説明できる。 3. 補綴歯科治療と健康科学との関係を説明できる。 4. 歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 5. 歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 6. 歯列部分欠損および無歯顎者の主要症候を説明できる。 7. 歯の欠損による顎堤の生理的な吸収を説明できる。 8. 歯質・歯・顎顔面欠損の病態を説明できる。 9. 歯質・歯・顎顔面欠損の病態を説明できる。 9. 歯質・歯・顎顔面欠損による障害の種類を説明できる。 10. 咬合・咀嚼障害、構音障害、審美障害、心理社会的障害の病態を説明できる。 10. 咬合・咀嚼障害、構音障害、審美障害、心理社会的障害の病態を説明できる。	*河相 安彦平塚 浩一
			【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/12(火) 1時限	歯科補綴学1ガイ	301教室: 講義 あり: ピアインストラクション	*河相 安彦 平塚 浩一
09:00~10:30	【導入1】歯の欠 損による障害・病 因と病態、症候	【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 構音・発語障害	
		工 審美障害 才 心理社会的障害 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態	
		2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態         イ 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化         a 口腔の変化         b 顎骨の変化         c 顔貌の変化	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	
		E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化 ④口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。	
2022/04/12(火) 2時限 10:40~12:10	【導入2】 歯の欠 損による障害の病 態と診断	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する	*大久保 昌和
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯の欠損による顎堤の生理的な吸収を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審善育・の病態を説明できる。 5. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審善に引いてきる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審善に割いできる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:歯学生のパーシャルデンチャー 6章 (P45-58) 、10章 (P77 -82)	
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室:講義 あり:ピアインストラクション	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態	
		ウ 構 ・ 発 語 障 害 エ 審 美 障 害 オ 心理 社 会 的 障 害 カ 口 腔 機 能 障 害 ・ 口 腔 顔 面 痛	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	
2022/04/12(火) 3時限 3:10~14:40	【導入3】 有床義 歯の目的と意義・ 様々な義歯による	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する	*河相 安彦
	治療法	【行動目標(SBOs)】	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/12 (火) 3時限 13:10~14:40		1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 3. 特殊な補綴装置による治療法を列挙できる。 4. 複製義歯の要件を説明できる。 5. 金属床義歯の利点を説明できる。 6. 即時義歯の手順を説明できる。 7. 顎顔面補綴装置の治療ゴールを述べることができる。 8. インプラント義歯の利点を述べることができる。	*河相 安彦
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:無歯顎補綴治療学13章-18章 (P263-302)、歯学生のパーシャルデンチャー29章 (274-283) ・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり ピア・インストラクション	
		【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】	
		【	
		は国家武殿山岡蓋華(王) 】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	
2022/04/19 (火) 2時限 10:40~12:10	【導入4】 有床義 歯補綴治療の診察・ 評価・治療効果	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を円滑に進めるための診察・評価・治療効果に関する知識および態度を修得する。	*河相 安彦 *鈴木 亜沙子 *五十嵐 憲太郎
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 有床義歯補綴治療の診察・検査項目を列挙できる。 3. 有床義歯補綴治療における診断について説明できる。 4. 有床義歯補綴治療の治療の効果について説明できる。 5. 有床義歯による補綴治療効果の評価方法について説明できる。 6. 口腔関連QOLの評価を行うことができる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 歯学生のパーシャルデンチャー:P128-139 無歯顎補綴治療学:P57-85 日本補綴歯科学会「歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン 2008」を通読する。	
		・準備学修時間60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室:演習 有:体験学修	
		【学修方略(LS)】 演習	
		【場所 (教室/実習室) 】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】  歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ア 診察 ウ 診断 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導	
		ウ 口腔機能向上に関する指導       カ 治療効果の評価       2 診察、検査、診断       イ 検査と評価       a 形態的・審美的評価       b 機能的評価	

目付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/19(火) 2時限 10:40~12:10	【導入4】 有床義 歯補綴治療の診察・ 評価・治療効果	d 身体社会的・心理的評価 e 栄養評価 f 補綴装置の評価  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	*河相 安彦 *鈴木 亜沙子 *五十嵐 憲太郎
2022/04/19 (火) 3時限 13:10~14:40	【導入5】障害・ 病因・病態・治療 に関する グループ ワーク	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 5. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 【準備学修項目と準備学時間】 クラウンリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯頸補綴治療学P56-83 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室・第5実習室 有 グループワーク 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 フ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア で合・咀嚼障害 【国家試験出題基準(副)】 と高部IV 歯質・・・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア で合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*************************************
2022/04/19(火) 4時限 14:50~16:20	【導入5】障害・ 病因・病態・治療 に関する グループ ワーク	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 5. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 5. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室・第5実習室 有 グループワーク 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 奋論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 方態 一 横音・発語障害	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/19(火) 4時限 14:50~16:20	【導入5】障害・ 病因・病態・治療 に関するグループ ワーク	エー審美障害	*************************************
2022/04/26(火) 2時限 10:40~12:10	【導入6】 補綴協領 科治療に障害 口腔顔 一腔顔 面痛	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯の欠損に伴う障害ので機説できる。 3. 口腔・顔面痛について概説できる。 4. 主要な身体診察を説明できる。 4. 主要な身体診察を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック・準備学修項目:口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック・準備学修時間:30分【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】301教室:講義実際に相互の診察を行います。あらじかじめ、クイズに回答して実習に望むこと(反転授業) 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論各論下、歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 カロ腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 医 臨床歯学 医・2 中腔・顎顔面領域の疾患 医・2 ー4) 口腔・顎顔面領域の疾患 医・2 ー4) 「9) 神経疾患 ① 口腔顔面痛を説明できる。	*大久保 昌和*小出 恭代
2022/04/26 (火) 3時限 13:10~14:40	【導入実-1】口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯の大損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療力針を説明できる。 4. 頭頭部の診察ができる 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:クラウンブリッジ補綴学1章(P19-42)、9章(P345-350)、歯学生のパーシャルデンチャー15章(P128-142)、無歯顎補綴治療学2章(P57-77)、口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 総論 V 診察総論 イ 診察の基本 【国家試験出題基準(副)】 総論 V 診察総論 ク 全身の診察	**************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/26(火) 3時限 13:10~14:40	【導入実-1】口腔 外診察		*************************************
2022/04/26 (火) 4時限 14:50~16:20	【導入実-1】口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4. 頭頸部の診察ができる 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:クラウンブリッジ補綴学1章 (P19-42)、9章 (P345-350)、歯学生のバーシャルデンチャー15章 (P128-142)、無歯顎補綴治療学2章 (P57-77)、口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【字修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室/実習室)】 301教室/実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論総論V 診察 1 診察総論 4 診察の基本 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論総論V 診察 1 ごを終め 2 を 9 の診察 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学	*************************************
2022/05/10 (火) 3時限 13:10~14:40	【導入実-2】口腔 内診察・補綴機能 評価		*************************************

日付	授業項目		担当教員
2022/05/10(火) 3時限 13:10~14:40	【導入実-2】口腔 内診察・補綴歯科 治療に関する機能 評価	歯科医学総論 総論 VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 で 咀嚼機能検査	*************************************
2022/05/10 (火) 4時限 14:50~16:20	【導入実-2】口腔 内 治療 関する機 機能	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために口腔内診察および 補級歯科治療に関する機能評価を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 口腔内診察を行うことができる。 3. 咬合診査を行うことができる。 3. 咬合診査を行うことができる。 4. 補綴歯治療に関連する口腔機能の評価を行うことができる。 【準備学修項目と理備学修時間】・準備学修時間】・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第55実習室 【国家試験出題基準(主)】 総論VI 検査 1 口腔検査。顎口腔機能検査 で口腔検査。電列・咬合検査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医Y 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 で 咀嚼機能検査 【工プカリキュラム】 E 臨床歯学 【二コアカリキュラム】 E 臨床歯学 【一コ 診察の基本 (〕診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。 2、1 を	*************************************
2022/05/17 (火) 1時限 09:00~10:30	【導入7】 障害・ 病因・病態・治療 に対する がループ 発表	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者の障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 7. 歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 2. 準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修時間:180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:グループワーク 【学修方略(LS)】 [漢習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論	*************************************

- <i>t</i> :	15 W - T -	1-7 M/V. 1 - 1- 4- 4-4-	Le via da le
日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/17 (火) 1時限 09:00~10:30	【導入7】障害・ 病因・病態・治療 に関するグループ 発表	各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 構音・発語障害 エ 審美障害 エ 心理社会的障害 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) ・歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) ・(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	*************************************
2022/05/17 (火) 2時限 10:40~12:10	【導入7】 障害・病因・病が ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者の障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う障害者音障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う時毒発音障害を研態を説明できる。 5. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損に検査結果の評価に基づき診断と治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目とエキスバートグループでまとめた知識の整理と発表の準備・準備学修時間:180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:グループワーク 【学修方略(LS)】 [複習 【場所(教室/実習室】】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【国医学各論 2 ・	*************************************

## 有床義歯補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*河相 安彦(有床義歯補綴学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	全部および部分無歯顎者の病因および病態の診断と、それに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な有床義歯補綴学(総義歯および局部床義歯)に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*河相 安彦、*飯島 守雄、*伊藤 誠康、*大久保 昌和、*中田 浩史、*石井 智浩、*五 十嵐 憲太郎、*小出 恭代、*鈴木 亜沙子、*井上 正安、*小川 晃奈、*北村 彩、*木村 純、*古賀 麻奈花、*佐藤 佳奈美、*佐藤 貴信、*小川 貴大
教科書	無歯顎補綴治療学 第4版 市川哲雄・大川周治・大久保力廣・水口俊介 編 医歯薬出 版 ISBN 978 -4-263-45868-6 歯学生のパーシャルデンチャー 第6版 赤川安正, 岡崎定司, 志賀博, 横山敦郎 編 医歯薬出 版 ISBN 978-4-263-45817-4 困ったときにSEOAPで解決 有床義歯トラブルシューティング 河相安彦 水口俊介 大久保力廣横山敦郎 永末書店 ISBN 978-4-8160-1337-9 有床義歯補綴学実習便覧 有床義歯補綴学講座 有床義歯補綴学講座 有床義歯補綴学講座
参考図書	コンプリートデンチャーテクニック 第6版 細井紀雄 ほか 医歯薬出版 ISBN 978-4-263-45646-0 パーシャルデンチャーテクニック 第6版 大久保力廣・岡崎定司・馬場一美・山下秀一郎・横山敦郎 医歯薬出版 ISBN 978-4-263-45865-5 スタンダードパーシャルデンチャー補綴学第3版 藍 稔ほか 学建書院 ISBN 978-4-7624-2656 -8 スタンダード歯科理工学 第7版 中嶌 裕ほか 学建書院 ISBN 978-4-7624-5614-5 なぜ壊れ、どう直すのか Denture Repair 村田比呂司・馬場一美 医歯薬出版 雑誌コード:08124-05 Implant Overdentures: The Standard of Care for Edentulous Patients Feine JS, Carlsson G E Quintessence Publishing ISBN 978-0-86715-430-6
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑤(有床義歯3回、クラウンブリッジ2回)の平均:50%),実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価,実技試験およびPBLの評価など:50%)を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合,評価点は60点未満とする。また,講義・実習いずれかが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	有床義歯補綴は壮年者から高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが明らかになっています。 今回の学修により多くの症例に対応できる基本を修得することを期待します。 講義・実習ともに学修支援システム・Web classおよびYoutubeによる動画教材を用いた予習・復習を必ず行ってください。 また解剖学および歯科理工学の知識を整理しておくと理解が深まります。今回の学修とその後の生涯にわたる研修を通じて、様々な症例に対応できるよう、学修に際して常に実際の患者を意識して行ってください。 歯科医師の実務経験を活かし、歯科医療に関する歴史および倫理、社会との関連について説明する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/12(火) 4時限 14:50~16:20	【PD-1】局部床義 歯の目的と意義, 構成要素, 適応症 および種類	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対して適切な補綴歯科治療を行えるようになるために、歯列部分欠損の特性を理解し、喪失した機能および形態を回復するために必要な知識・技能・態度を修得する。	*飯島 守雄
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯列部分欠損の病態を説明できる。 3. 部分歯列欠損の機能障害、形態変化を説明できる。 4. 歯列部分欠損を有する患者の機能回復の方法を説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:歯学生のパーシャルデンチャー3章 (P13-19)、4章 (P20-25)、 8章 (P66-69)	
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピアインストラクション 講義、臨床写真	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 a 口腔の変化	
		【国家試験出題基準(副)】	

目付	授業項目	授業内容等		
2022/04/12(火) 4時限 14:50~16:20	【PD-1】局部床義 歯の目的と意義, 構成要素,適応症 および種類	歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断	*飯島	守雄
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。		
2022/04/19(火) 1時限 09:00~10:30	【PD-2】 局部床 義歯の診査・治療 計画・概形印象と 研究模型・サベイ	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法に ついて理解する。局部床義歯の設計に必要なサベイングについて理解する。	*石井	智浩
	がが、	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 可撤性部分床義歯治療のために行う検査を列挙できる。 3. サベイングの目的を説明できる。 4. サベイングの手順を説明できる。 5. 欠損歯列の診査・診断について説明できる。 6. 可撤性部分床義歯の設計の原則を理解する。 7. 仮設計の目的について説明できる。 8. 必要な前処置について説明できる。 9. 可撤性部分床義歯の治療計画について説明できる。		
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 歯学生のパーシャルデンチャー15章 (P128-142) 、16章 (P1 43-150)		
		・準備学修時間:30分		
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ピアインストラクション		
		【学修方略(LS)】 講義		
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室		
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則		
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案		
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。		
2022/04/26(火) 1時限 09:00~10:30	【PD-3】 局部床 義歯の設計の原則、 支持・把持・維持	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損を補う義歯の設計に関わる知識を修得する。	*飯島	守雄
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 可徹性部分床義歯の設計の原則を理解する。 3. 可徹性部分床義歯の支持性能について説明できる。 4. 可徹性部分床義歯の推持性能について説明できる。 5. 可徹性部分床義歯の維持性能について説明できる。 6. 可徹性部分床義歯の支持、把持、維持機能について説明できる。		
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:歯学生のパーシャルデンチャー11章 (P83-86) 、12章 (P87- 105)		
		・準備学修時間:30分		
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピアインストラクション		
		【学修方略(LS)】 講義		
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室		
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則		
		a   設計の原則 		

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/26 (火) 1時限 09:00~10:30	【PD-3】 局部床 義歯の設計の原則、 支持・把持・維持	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	*飯島 守雄
2022/05/10 (火) 1時限 09:00~10:30	【平常試験① (有床)】 (9:00-9:5 0)	【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する 【行動目標(SBOs)】 1. 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛について説明できる 2. 有床義歯にかかわる障害の種類を列挙できる 4. 有床義歯にかかわる障害の病態を列挙できる 5. 様々な義歯にかかわる障害の病態を列挙できる 6. 有床義歯の維持・支持・把持安定について説明できる 7. 有床義歯の維持・支持・把持安定について説明できる 8. 医療面外診察の項目を列挙できる 9. 口腔内診察の項目を列挙できる 10. 口腔内診察の項目を列挙できる 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲:導入1~6、PD1~3 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 10:40~11:30:平常試験:301教室なし:試験 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	*河相 安彦 *飯久井 宗 *女子 *水石小井 *本石小井 *五十嵐 *五十嵐 *五十嵐 *五十嵐 *五十嵐 *五十嵐 *五十嵐 * *五十嵐 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
2022/05/10 (火) 2時限 10:40~12:10	1) 平常試験①の振り返りのあり返りがループ発表の準備	①歯の欠損、類骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 【授業の一般目標】 平常試験①の振り返りおよびグループ発表の準備を行うことにより、これまでに学修した内容の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛について説明できる2. 有床義歯にかかわる障害の種類をできる4. 様々な義歯による治療法を列挙できる4. 様々な義歯の維持を支持・把手安定について説明できる7. 医療面接と診察、評価と診断を行うことができる8. 口腔外診察の項目を列挙できる8. 口腔外診察の項目を列挙できる8. 口腔外診察の項目を列挙できる1. 準備学修項目 1) なし 2) グループワーク発表の準備・準備学修時間 1) なし 2) がループワーク発表の準備あり:グループワーク 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室) 301教室、第5実習室 【国内に40~11:30。解説講義・振り返り:301教室 11:30~:発表の準備あり:グループワーク 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室) 【国アカリモブリーク 【学修方略(LS)】  「場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国アカ明・ブループワーク 【学修方略(LS)】  「場所の大損の治療 「コアカリキュラム】 E 臨床歯学	*河爾 *河爾 *河爾 *河爾 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴 *大石小鈴
2022/05/17 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-1】 概形 印象採得と研究用 模型の製作 (A班	①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 【授業の一般目標】 局部床義歯の検査を行うために必要な研究用模型を適切に製作できる概形印象 採得法を修得する。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	: 第5実習室) B班【PD実-2】サ ベイング・仮設計 (5月24日 3時限 目を参照)	【行動目標 (SBOs)】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 概形印象のトレーの選択を行うことができる。 3. 既製トレーの改変を行うことができる。 4. 印象操作を行うことができる。 5. 採得された印象を評価できる。 6. 石膏注入を行うことができる。 7. 研究用模型を製作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	*************************************
		・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeによる予習項目(概形印象採得、研究用模型の製作)	*小川 貴大
		【学修方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室) 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 商科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作	
		b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	
2022/05/17 (火) 4時限 14:50~16:20	【PD実-1】 概形 印象採得と研究用 模型の製作(A班 :第5実習室) B班 演習:サベ イング(5月24日 4時限目を参照)	【授業の一般目標】 局部床義歯の検査を行うために必要な研究用模型を適切に製作できる概形印象 採得法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 概形印象のトレーの選択を行うことができる。 3. 既製トレーの改変を行うことができる。 4. 印象操作を行うことができる。 5. 採得された印象を影価できる。 6. 石膏注入を行うことができる。 7. 研究用模型を製作できる。	*************************************
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	*古賀 麻奈花 *佐藤 佳奈美 *佐藤 貴信 *小川 貴大
		有:反転授業・実習 実習書、Youtubeによる予習項目(概形印象採得、研究用模型の製作) 【学修方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室) 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	
2022/05/24 (火) 1時限 09:00~10:30	【PD-4】 支台装 置(クラスプとア タッチメント)	【授業の一般目標】 局部床義歯治療を実践できるようになるため、支台(維持)装置の機能と設計 について理解する。	*五十嵐 憲太郎 *飯島 守雄
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 支台装置の役割を説明できる。 3. 直接支台装置と間接支台装置について説明できる。 4. 局部床義歯のクラスプについて説明できる。 5. 局部床義歯のアタッチメントについて説明できる。	

1942	日付	授業項目	授業内容等	担当教員
「アウティクラーニングの青油・辛辣媒体等」	1時限	置(クラスプとア	・準備学修項目:歯学生のパーシャルデンチャー:9章 (P70-72)、12章 (P89	*五十嵐 憲太郎 *飯島 守雄
「日本 アインストラクション   「日本 日本 日			・準備学修時間:30分	
場所 (数元/本要章 ]   18所 (数元/本要章 ]   18所 (数元/本要章 ]   18				
19 1				
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1			歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
2 2022/05/24 (火)  10:30~12:10  2022/05/24 (火) 3時限と研究 13:10~14:40  2022/05/24 (火) 3時限 2022/05/24 (火) 3時間 2022/05/			E 臨床歯学         E-3 歯と歯周組織の常態と疾患         E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療         E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	
1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。   2. 忌部水産権で支持機構を設明できる。  3. 大連結片について初見できる。  3. 大連結片について初見できる。  4. 未満年について初見できる。  6. 義進の設計による間接機棒作用について説明できる。  4. 未満年について記明できる。  4. 本海に上ので変更はとなりに対してジャルデンチャー: 9章 (P73-75)、11章 (P84-75)	2時限	義歯床・間接支台	局部床義歯治療を実践できるようになるため、義歯の動きに関わる連結装置・	*五十嵐 憲太郎 *飯島 守雄
「中海学修項目と準備学修時間] ・ 準備学修項目:簡学生のパーシャルデンチャー: 9章 (P73-75) 、11章 (P84-87) ・ 22章 (P219-227)			1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 3. 大連結子について説明できる。 4. 小連結子について説明できる。 5. 義歯床について説明できる。	
(中国			【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:歯学生のパーシャルデンチャー:9章 (P73-75) 、11章 (P84	
講義				
3 0 1 教室、第 5 実習室			【学修方略(LS)】 講義	
「				
「大学・			歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
E 臨床歯学			歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計	
3時限			E 臨床歯学         E-3 歯と歯周組織の常態と疾患         E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療         E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	
【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:研究用模型のサベイングおよび義歯の設計に関する講義内容、 ************************************	3時限	イング・仮設計 (A班:301教室) B班【PD実-1】 概 形印象探見と研究 開理型の製作(5 月17日3・4時限目	部分歯列欠損の補綴治療に際して、研究用模型のサベイング、仮設計に関する知識、技能、態度を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 研究用模型の評価を行うことができる。 3. 研究用模型のサベイングを行うことができる。 4. 義歯の構成要素を説明できる。 5. 義歯の設計線を記入することができる。	*飯房藤久田井出木十上川 守越下上川 守越下上川 守越下上川 守越下上川 守越下上川 守越下上川 守道下, 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个
【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】			・準備学修項目:研究用模型のサベイングおよび義歯の設計に関する講義内容、 実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分	* 木村   純   * 古賀   麻奈花   * 佐藤   佳奈美   * 佐藤   貴信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/24(火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-2】 サベイング・仮設計(A班:301教室) B班【PD実-1】研究用模型の製作(5 月17日3・4時限目を参照)	有:反転授業・実習 実習書、Youtubeによる予習項目(研究用模型のサベイング、義歯の仮設計) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床設計 a 設計の原則 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療	*************************************
2022/05/24 (火) 4時限 14:50~16:20	演習 (サベイング) (A班:301教室) B班【PD実-1】 研究 肝印象型の製 手でである。 4時限目 を参照)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損の補綴治療に際して、研究用模型のサベイング、仮設計に関する知識、技能、態度を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. サベイングの手順を説明できる。 3. サベイングに用いる器具を列挙できる。 【準備学修項目と準備学を時間】・連備学修項目に講義および実習の関連項目の復習・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:演習(ワークブックによる課題) 【学修方略(LS)】 [漢智 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 諸科医学各論各論による治療・ 義歯の設計 歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義計 a 設計の原則 【国科医学各論音・振顔面欠損と機能障害 4 部分床義計 b 義歯の原則 【国科医学各論 歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義計 b 表歯の根成要素     世	*************************************
2022/05/31 (火) 1時限 09:00~10:30	【PD-6】有床義歯の口腔内前処置(広義・狭義)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を行えるようになるために、歯列の全部および部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 口腔内前処置を定義できる 3. 広義の口腔内前処置を列挙できる 4. 狭義の口腔内前処置を列挙できる 5. 局部床義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 6. 総義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 7. 有床義歯に関わる粘膜病変を説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:無歯顎補綴治療学:3章 (P86~92)、歯学生のパーシャルデンチャー:17章 (P151-163) 」 ・準備学修時間:30分	*大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/31 (火) 1時限 09:00~10:30	【PD-6】有床義歯の口腔内前処置 (広義・狭義)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピアインストラクション	*大久保 昌和
09.00 ~10.30	(/公我・伏我)	【学修方略(LS)】 講義	
		【場所 (教室/実習室) 】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	
2022/05/31 (火) 2時限 10:40~12:10	【PD-7】局部床義 歯の精密印象・作 業用模型の製作	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を行えるようになるために、歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技および使用材料、精密印象から 製作する作業用模型に必要な要件を理解する。	*小出 恭代 *大久保 昌和
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯根膜負担、粘膜負担、歯根膜粘膜負担義歯について説明できる。 3. 個人トレーを用いた機能印象を説明できる。 4. 印象用材料について説明できる。 5. 作業用模型の製作方法について説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 歯学生のパーシャルデンチャー13章 (P106-109), 18章 (P164 -173)	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室:講義 有:ピアインストラクション	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各 合論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得	
		【コアカリキュラム】  E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき	
		る。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	
2022/05/31 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-3】 個人 トレーの製作(A 班:第4実習室, B班:第5実習室)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部 床義歯の個人トレーの製作に関する知識、技能、態度を修得する。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康 *大久保 昌和
	四班:第0天日王/	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 個人トレーの外形線を記入することができる。 3. 個人トレーを製作することができる。	* 中田 浩史   * 石井 智浩   * 小出 恭代   * 鈴木 亜沙子
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画 の確認	* 五十嵐   憲太郎   * 井上   正安   * 小川   晃奈   * 北村   彩   * 木村   純
		・準備学修時間:30分	* 古賀 麻奈花
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(個人トレーの製作)	* 佐藤   貴信   * 小川   貴大
		【学修方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床養歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/31 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-3】個人トレーの製作(A 班:第4実習室、 B班:第5実習室)	【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 (3) 可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 (3) 可撤性義歯の設計原則を説明できる。	*************************************
2022/05/31 (火) 4時限 14:50~16:20	【PD実-3】 個人 トレーの製作 (A 班:第4実習室) B班:第5実習室)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部 床養歯の個人トレーの製作に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.個人トレーを製作することができる。 3.個人トレーを製作することができる。 3.個人トレーを製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画 ・準備学修項目:個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(個人トレーの製作) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 者論IV 衛質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義計で 歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義計で 歯・顎の原則 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 ・調の面欠損と機能障害 4 部分床養計による治療     設計の原則 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論(よる治療     設計の原則 【国家試験出題基準(副)】 を論による治療     設計の原則 【国家試験出題基準(副)】 を論による治療     設計の保護して、表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表	*************************************
2022/06/07 (火) 1時限 09:00~10:30	補充実習(義歯の設計)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損の補綴治療に際して、義歯の設計に関する知識、技能、態度を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 義歯の設計原則を説明できる。 3. サベイングに基づく義歯の設計を実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:研究用模型のサベイングおよび義歯の設計に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有:反転授業・実習実習書、Youtubeによる予習項目(研究用模型のサベイング、義歯の仮設計) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療    義歯の設計 a 設計の原則	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/07 (火) 1時限 09:00~10:30	補充実習 (義歯の設計)	【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	*************************************
2022/06/07 (火) 2時限 10:40~12:10	補充実習(義歯の設計)	【授業の一般目標】 部分麻養的に関する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床要務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 義歯の設計原則を説明できる。 3. サベイングに基づく義歯の設計を実施できる。 3. サベイングに基づく義歯の設計を実施できる。 3. サベイングに基づく義歯の設計を実施できる。 3. サベイングに基づく義歯の設計を実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目とのサベイングはよび義歯の設計に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載・準備学修時間:30分【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有:反転授業・実習実習事、Youtubeによる予習項目(研究用模型のサベイング、義歯の仮設計)【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論合語 W 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害4 部分床義歯による治療ア 義歯の設計 a 設計の原則 a 設計の原則 【国家試験出題基準(副)】 菌科医学各論 各論 W 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療ア 表歯の設計  2 世界を発音  2 世界を発音  2 世界を発音  3 世界の最近  2 世界を発音  4 市分床表歯による治療  4 市分に乗者  2 世界を発音  4 市分に乗者  2 世界を発音  4 中ベイング、設計線の記入  3 世界の記入  3 世界の記入  4 世界の記入  4 電質と歯の次損の診断と治療  5 世界を発音  2 世界の記入  5 世界を発音  2 単位の診断と治療  2 部床義歯  2 部床義歯  2 部床義歯  2 部体機歯  3 可能性義歯  3 可能性表歯  4 可能性表歯  3 可能性表歯  4 可能性表  4 可能能能量  4 可能性表  4 可能	*************************************
2022/06/07 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-4】支台歯に対する口腔内前処置(A班:第5実習室) B班 演習(前処置・印象採得) (6月7日4時限目を参照)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、支台歯に対する口腔内前処置を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 支台歯に対する前処置について説明できる。 3. 回転切削器具を適切に取り扱うことができる。 4. ガイドプレーンの形成ができる。 5. レストシートの形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:口腔内前処置に関する講義内容、実習書および予習動画の確認 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(マウスプレパレーション) 【学修方略(LS)】  【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論各論(い) 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作	**************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/07 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-4】支台歯に対する口腔内前処置 (A班:第5実習室) B班 演習 (前処置・印象採得) (6月7日4時限目を参照)	a 前処置  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	*************************************
2022/06/07 (火) 4時限 14:50~16:20	( A p i i i i i i i i i i i i i i i i i i	【授業の一般目標】部分療養歯に関する知識、技能、態度を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床装務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 口腔内前処置の種類を説明できる。 3. 支台歯に対する口腔内前処置の種類を説明できる。 4. レストシート・ガイドプレーンの形成手順を説明できる。 5. 局部床義歯の特を業用模型の製作方法について説明できる。 6. 局部床義歯の特を業用模型の製作方法について説明できる。 7. 局部床義歯の作業用模型の製作方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:演習(ワークブックによる課題) 【学の方略(LS)】 【場所(教室/実習室】 【場所(教室/実習室】 【場所(教室/実習室】 【国家試験出題基準(主)】 香給心 歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床表歯による治療 イ 臨床操作	**************************************
2022/06/14 (火) 1時限 09:00~10:30	【PD-8】 局部床 義歯のフレームター 分の製作、パ型ご と埋没	【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの製作,パターン採得および型ごと埋没を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. □臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 局部床義歯のフレームワークを説明できる。 3. フレームワークの使用金属を説明できる。 4. フレームワークの製作順序を説明できる。 5. クラスプパターン採得を説明できる。 6. 耐火模型・型ごと埋没を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー:13章(P106-115),23章(P228-234) 準備学修時間 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピアインストラクション 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論	*伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/14 (火) 1時限 09:00~10:30	【PD-8】 局部床 義歯のフレームワー クの製作, パター ン採得および型ご と埋没	各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論III 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 2 金島材料 a 金合金 b 銀合金、金銀パラジウム合金 d コバルトクロム合金 d コバルトクロム合金 C エアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領質と歯の契権を説明できる。 ②可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	*伊藤 誠康
2022/06/14 (火) 2時限 10:40~12:10	【PD実-5】 筋圧形 成・シーク	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の精密印象採得・作業用模型の製作を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の情密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 3 0 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 反転授業・実習実習書、Youtubeの予習項目(筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作に関する業者、Youtubeの予習項目(筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 諸科医学各論名。「類顔面欠損と機能障害 4 部分床養歯による治療 4 部分床養歯による治療 4 部分床嚢歯による治療 4 部分床嚢歯による治療 5 協解性養歯の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 上 3 歯と歯肉組織の常態と疾患 E 3 もと歯周組織の常態と疾患 E 3 も) 歯質と歯の欠損の診断と治療 と 1 歯質と歯の欠損の診断と治療 と 2 部より一段と使患を患る・1 の別に表しまる治療	*************************************
2022/06/14 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-6】 筋圧形成・水の・ 体の・ 体の・ 体の・ 体の・ 体の・ 体の・ 体の・ 体の・ 体の・ 体	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の精密印象採得・作業用模型の製作を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:筋圧形成、精密印象、ボクシング作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作)	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/14(火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-5】筋圧形成・指密・第二条 (A班・作の変数を変数を変数を変数を変数を変数を変数を変数を変数を変数を変数を変数を変数を変	【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 4 部分床義歯による治療 4 臨床操作 b 印象採得  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) の可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	**************************************
2022/06/14 (火) 4時限 14:50~16:20	【PD実-5】 筋圧・1 成・1 原・1 原・1 原・1 原・2 原・2 原・2 原・2 原・2 原・2 原・2 原・2	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の精密印象採得・作業用模型の製作を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 5. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 6. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 6. 下顎部分欠損の精密印象、ボクシング作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有:反転授業・実習実習者、Youtubeの予習項目(筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作】 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論合論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床養歯による治療 技工操作	**************************************
2022/06/21 (火) 1時限 09:00~10:30	【CD-1】総義歯の 目的と意義、維持・ 支持・安定、適応 症・種類と前処置	【授業の一般目標】 無歯顎者に適切な補綴装置を用いた治療を行うために必要な知識、技能及び態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 全部床義歯の構成要素を列挙できる。 3. 全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。 4. 全部床義歯の維持の発現機構を説明できる。 5. 全部床義歯の維持の発現機構を説明できる。 6. 全部床義歯の安定の発現機構を説明できる。 6. 全部床義歯の安定の発現機構を説明できる。 6. 全部床義歯の安定の発現機構を説明できる。 6. 全部床義歯の安定の発現機構を説明できる。 1. 準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:無歯顎補綴治療学(P47-53、86-92) ・準備学修時間:30分	*河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/21 (火) 1時限 09:00~10:30	【CD-1】総義歯の 目的と意義、維持・ 支持・安定、適応 症・種類と前処置	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ピア・インストラクション	*河相 安彦
2022/06/21 (火) 2時限	症・種類と前処置 義歯の設計に関す る演習 (A班: 301	【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 f 補綴装置の評価 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「変と歯の欠損の診断と治療 (②可撤性義歯の無疑と適応症を説明できる。 ②可撤性義歯の特別を適応症を説明できる。 ③可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ④可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ④可撤性義歯の設計原則を説明できる。	*河相 安彦維持
10:40~12:10	教室) B班【PD実-5】 筋 圧形成・精密印象・ ボクシの製作(6 月14日2・3・4時 限目を参照)	床義歯の設計に必要な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.局部床義歯の設計手順則を説明できる。 3.局部床義歯の設計手順順できる。 4.支台装置の種類を分類できる。 6.局部床義歯を設計することができる。 6.局部床義歯を設計することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間・30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:演習(体験学修・ワークブックによる課題) 【学修方略(LS)】 [漢習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学 各論 歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床表計 a 設計の原則 【国家試験出題基準(副)】 「歯科医学を歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床表計 歯で洗る治療 義歯の設計の原則 【国本医学を歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義計	**************************************
2022/06/21(火) 3時限 13:10~14:40	リオ記載(A班:3 01教室) B班【PD実-5】筋 圧形成・精密印象・	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計) の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 口腔内前処置について説明できる。 3. 精密印象採得について説明できる。 4. 作業用模型の製作方法を説明できる。 5. 作業用模型でのサベイングを説明できる。 6. 義歯の設計原則を説明できる。 7. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:これまでに学修した内容(口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計)の確認	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/21 (火) 3時限 13:10~14:40	講義 (A班: 3 の版) オリオ (A班: 3 の 1 教室) といい。 (A班: 3 の 1 教室) という。 (B班 (P) 実 + 5 ) 第 に がら型 ののです。 (B) は	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論「治療 2 歯・あ術式 d 歯の欠損の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床養歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 b 印象採得 d サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同複性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑥可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑥可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑥可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑥可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	*************************************
2022/06/21 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・実習の振フォ 3 01 数 4 日 1 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計) の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づきで説の内容を教授する。 2. 口腔内前処置について説明できる。 3. 精密印象採得について説明できる。 4. 作業用模型の映作方法を説明できる。 5. 作業用模型のサベイングを説明できる。 6. 義歯の設計原則を説明できる。 6. 義歯の設計原則を説明できる。 7. 講義・実習を通じて学修した内容(口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイングを説明できる。 【理備学修項目:これとで学修した内容(口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計)の確認 「連備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】あり:ボートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッショ 【学修方略(LS)】 [資習 【場所(教室/実習室】】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 諸経論理 ・	*************************************
2022/06/28(火) 1時限 09:00~10:30	【CD-2】無歯顎の 概形印象採得・研 究用模型・個人ト	【授業の一般目標】 無歯顎患者の概形印象採得と研究用模型の製作を円滑に行うために必要な口腔 周囲の解剖学、印象材の所用性質、印象方法と研究用模型の製作方法に関する	*鈴木 亜沙子 *河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
日付	授業項目	知識、概形印象採得を安全に行う技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。 4. アルジネート印象材の所用性質を述べることができる。 6. 研究用模型の目的を述べることができる。 7. 個人トレーの要件を説明できる。 (準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目と無歯顎補綴治療学:P102-112、113-115・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピア・インストラクション 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部操操作 b 印象採得 【国家試験出題基準(副)】	担当教員 **鈴木 亜沙子 **河相 安彦
2022/06/28 (火) 2時限 10:40~12:10	【PD実-7】ワイヤー クラスプ屈曲(A 班:第5実習室)	各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	*河相 安彦 *飯藤 *伊藤
10.40 -12.10	B班【PD実-8】耐 火模型の製作・フ	表面 (ワイヤークフスフ) の製作に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 支台装置の設計について説明できる。 3. ワイヤークラスプを屈曲できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目とアクラスプの屈曲に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習実習書、Youtubeの予習項目 (ワイヤークラスプの屈曲) 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患	* 大久保 * 中田 浩生 * 石井 智浩 * 小出 無沙子 * 五木嵐 正憲 * 井上 正安
2022/06/28(火) 3時限 13:10~14:40	計・ブロックアウ	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部 床義歯の作業用模型へのサベイング・最終設計・設計線に基づくブロックアウト・リリーフの実施に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 下顎作業用模型に対するサベイングができる。 3. 最終設計ができる。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠唐 *大田 書中 *大田 智浩 *中井 智浩 *小出 恭代 *鈴木 亜 *五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/28(火) 3時限 13:10~14:40	4実習室)	4. 設計線に基づく作業用模型へのブロックアウト・リリーフができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目: サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフに関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有: 反転授業・実習実習書、Youtubeの予習項目(サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ)	*井上川村 *小村村 *北村村 *木古賀 *佐藤 *佐藤 *佐藤 *大
		【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301 教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 【国家試験出題基準(副)】	
		<ul> <li>国外の政治の歴史年(田) 】</li> <li>歯科医学各論</li> <li>各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</li> <li>4 部分床義歯による治療ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素</li> <li>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)</li> <li>⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</li> </ul>	
2022/06/28(火) 4時限 14:50~16:20	【PD実-6】 サベ計・・・ リリリーマー リリリーマー (A) ま設 (A) サベ計・・ リリリーマー (A) サベイ・・・ 第5 (A) サーバー サーバー サーバー サーバー サーバー サーバー サーバー サーバ	3. 最終設計ができる。 4. 設計線に基づく作業用模型へのブロックアウト・リリーフができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフに関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有:反転授業・実習実習書、Youtubeの予習項目(サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】歯科医学各論各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 部分の戻則 【国家試験出題基準(副)】歯科医学各論各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	*************************************
2022/07/05(火) 1時限 09:00~10:30	【CD-3】無歯顎の 精密印象と作業用 模型	4 部分床嚢歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 【授業の一般目標】 無歯顎患者の筋圧形成と精密印象を正確に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材の所用性質、印象方法に関する知識、精密印象採得を安全に配慮しなが	*河相 安彦 *鈴木 亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	【CD-3】無歯顎の 精密印象と作業用 模型	ら行う知識・技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】	*河相 安彦 *鈴木 亜沙子
	1天王	1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 個人トレーの目的を説明できる。 3. 個人トレーの設計要件を説明できる 4. トレー用常温重合レジンの所用性質を述べることができる。 5. 精密印象の手順を述べる。 6. 無歯顎に用いる精密印象材を列挙する。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学(P115-122, 122-125) 60分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピアインストラクション	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	
2022/07/05(火) 2時限 10:40~12:10	【PD実-8】耐火模型の製作・フレームワークのワックスアップ(A班:3	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、耐火 模型によるフレームワークの製作手順を理解する。	*伊藤 誠康
	01教室) B班【PD実-7】ワ イヤークラスプ屈 曲(6月28日2時限	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 耐火模型の製作方法について説明できる。 3. フレームワークの製作順序を説明できる。	*大久保 昌和 *中田 浩史 *石井 浩浩 *小出 恭代 *鈴木 田沙子
	目を参照)	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:耐火模型の製作・フレームワークのワックスアップに関する 講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	*五十嵐 憲太郎 *井上 正安 *小川 晃奈 *北村 彩 *木村 純
		・準備学修時間:30分	*古賀 麻奈花 *佐藤 佳奈美 *佐藤 貴信
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(耐火模型の製作、フレームワークのワックスア ップ)	*小川 貴大
		指導教員によるデモンストレーション         【学修方略 (LS)】         実習	
		【場所(教室/実習室) 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ②可撤性義歯の製作過程を説明できる。	
2022/07/05 (火)	演習(無歯顎の解	【授業の一般目標】	*河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
日付 3時限 13:10~14:40	授業項目 部) (A班:301教 室) B班【CD実-1】無 歯顎の概形解型 (7月12日3・4時 限目を参照)	授業内容等 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、無歯顎者の印象採得および関連する口腔の解剖に関する知識・技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 無歯顎患者の概形印象採得について説明できる。 3. 無歯顎者の解剖学的ランドマークを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間】・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:演習(ワークブックによる課題) 【学修方略(LS)】 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床協学 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 可撤性義歯関作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	担 守誠 浩智 宗正 不
2022/07/05 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・実習の振ります。 まず、まず、 (A班: 3 01数室) B班 (CD実-1) 無無ないの概の完正の機の発用では、 (7月12日3・4時限目を参照)	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (無菌顎の概形印象採得・研究用模型の製作)の統合を行うために必要な知識・ 技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 無歯顎の概形印象集得とついて説明できる。 3. 研究用模型の製作方法について説明できる。 4. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間】・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論V 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E - 3 歯と歯周組織の常態と疾患 E - 3 - 4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E - 3 - 4) 歯質と歯の欠損の診断と治療	*************************************
2022/07/12 (火) 1時限 09:00~10:30	【実習技能試験① 有床】サベイング	【授業の一般目標】 適切な局部床義歯製作に必要な模型上の検査方法を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.模型の設置が出来る 2.適切な検査ツールを選択できる 3.サベイングツールを使用することができる 4.検査後に適切な設計線を記載することができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:講義・実習で学修した内容の確認・復習 ・準備学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無:試験	*************************************

目付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/12 (火) 1時限 09:00~10:30	【実習技能試験① 有床】サベイング	【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) ・(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	*************************************
2022/07/12 (火) 2時限 10:40~12:10	【実習技能試験② 有床】マウスプレ パレーション	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.支台歯に対する前処置ができる。 2.適切な器具の取り扱いができる。 3.患者に配慮が出来る 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間 1・準備学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無:試験 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作	*************************************
2022/07/12 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-1】無歯顎の概形印象では、 研究用模型のでは、 研究用模型の 日の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	【授業の一般目標】 無歯類患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究用模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. アルジネート印象材の練和ができる。 3. 普通石膏の練和ができる。 4. 研究用模型の規格に従い、製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間】・準備学修項目と無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(無歯顎の概形印象採得、研究用模型の製作) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部未養歯による治療 7 臨床操作 b 印象採得	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/12(火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作(A班:第5実習室) B班 演習(無歯顎の解剖) (7月5日3時限目を参照)	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*************************************
2022/07/12 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-1】無線 の概形は (A班: 第5 (A班: 講返り (A班: 講返り (7月5日4 ) (7月5日4 ) (7月5日4 ) (7月5日4 )	【授業の一般目標】 無歯類患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究用模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. アルジネート印象材の練和ができる。 3. 普通石膏の練和ができる。 4. 研究用模型の規格に従い、製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・連備学修項目と無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(無歯顎の概形印象採得、研究用模型の製作) 【学修方略(LS)】  【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 養給証(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学を論による治療 「臨床機作しまる治療 「臨床機構」 「コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 面質と歯の対損の診断と治療 E-3-4)。面質と歯の大損の診断と治療 E-3-4)。面質と歯の大損ないればないればないればないればないればないればないればないればないればないれば	*************************************
2022/07/19 (火) 1時限 09:00~10:30	【実習技能試験③ 有床】概形印象採 得	【授業の一般目標】 無歯顎患者および部分欠損歯列の概形印象採得を円滑に行うために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 概形印象採得に使うトレーを選択できる 2. トレーの試適を行う事ができる 3. 印象材の練和を適切にできる 4. 患者への配慮ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:講義および実習の復習 準備学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無:試験 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 協・ 治療 2 歯の大損の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 エコカリキュラム】 E 臨床歯ど 歯の欠損の診断と治療 こコアカリキュラム】 E 臨床歯ど 歯の欠損の診断と治療 こコーム) 歯質と歯の欠損の診断と治療 モ-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/19(火) 1時限 09:00~10:30	【実習技能試験③ 有床】概形印象採 得	⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	李守誠 浩智恭亜 正晃彩純麻佳貴貴 安守誠 浩智恭亜 正晃彩純麻佳貴貴 彦雄康昌史浩代沙憲安奈 奈奈信大 彦雄康昌史浩代沙憲安奈 奈奈信大 彦雄康昌史浩代沙憲安奈 奈奈信大
2022/07/19 (火) 2時限 10:40~12:10	実習技能試験①・         ②・③の・振り	授業の一般目標	*************************************
2022/07/19(火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-2】個人ト レーの製作 (A班 :第5実習室) B班 【CD実-2】 個人トレーの製作 (第4実習室)	【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象を採得するために用いる個人トレーの製作を円滑に行う ために必要な製作方法に関する知識、口腔周囲の組織と調和した形態に仕上げ る技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 研究用模型の前準備を行うことができる。 3. 義歯床と個人トレーの外形線を記入することができる。 4. トレー用常温重合レジンの混和ができる。	*河相 安守 維 *河 集 *伊 大 田 井 田 本 * 十 智 恭 田 正 * 十 日 本 * 1 日 本 * 1 日 本 * 2 日 も * 2 日

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/19(火) 3時限	【CD実-2】個人ト レーの製作 (A班	5. トレー用常温重合レジンを圧接して成形ができる。 6. 把柄を付与して完成することができる。	*小川 晃奈 *北村 彩
13:10~14:40	: 第5実習室) B班 【CD実-2】 個人トレーの製作 (第4実習室)	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(個人トレーの製作)	*木村 純 *古寶藤 佳奈美 *佐藤 貴古 *小川
		【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	
2022/07/19 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-2】個人ト レーの製作 (A班 : 第5実習室) B班 【CD実-2】 個人トレーの製作 (第4実習室)	【授業の一般目標】 無歯類患者の精密印象を採得するために用いる個人トレーの製作を円滑に行うために必要な製作方法に関する知識、口腔周囲の組織と調和した形態に仕上げる技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.研究相様型の前準備を行うことができる。 3.義歯床と個人トレーの外形線を記入することができる。 4.トレー用常温重合レジンを圧接して成形ができる。 5.トレー用常温重合レジンを圧接して成形ができる。 6.把柄を付与して完成することができる。 6.把柄を付与して完成することができる。 6.把柄を付与して完成することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目に個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有:反転授業・実習実習書、Youtubeの予習項目(個人トレーの製作) 【学修方略(LS)】 【場所(教室/実習室)】301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全形床義歯による治療 ウ技工操作 a 個人トレーの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E 3 歯と歯周組織の常態と疾患 E 3 もと 歯質と歯の欠損の診断と治療 E 3-4) 「質質と歯の欠損の診断と治療 E 3-4) 「質質と歯の欠損の診断と治療	*************************************
2022/07/26 (火) 1時限 09:00~10:30	補充実習(概形印象採得・研究用模型の製作・個人トレーの製作)	【授業の一般目標】 無歯類患者の概形印象・研究用模型の製作・個人トレーの製作を円滑に行うために必要な知識、口腔周囲の組織と調和した形態に仕上げる技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 概形印模型を製作できる。 3. 研究用模型の前準備を行うことができる。 4. 研究用模型の前準備を行うことができる。 5. 義歯床と個人トレーの外形線を記入することができる。 6. 個人トレーを製作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画 の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/26(火) 1時限 09:00~10:30	補充実習(概形印象採得・研究用模型の製作・個人トレーの製作)	<ul> <li>・準備学修時間:30分</li> <li>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</li> <li>有:反転授業・実習</li> <li>実習書、Youtubeの予習項目(個人トレーの製作)</li> <li>【学修方略(LS)】</li> </ul>	*小川 貴大
		まる	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 前処置 b 印象採得	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	
2022/07/26(火) 2時限 10:40~12:10	補充実習(概形印象採得・研究用検 ・研究用検 ・の製作・ の製作)	【授業の一般目標】 無歯類患者の概形印象・研究用模型の製作・個人トレーの製作を円滑に行うために必要な知識、口腔周囲の組織と調和した形態に仕上げる技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 概形印象採得を行うことができる。 3. 研究用模型の前機を行うことができる。 5. 義歯床と個人トレーの外形線を記入することができる。 6. 個人トレーを製作できる。 ( 準備学修項目目と準備学修時間 ) ・準備学修項目目のボートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(個人トレーの製作) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室) 301 教室、第5実習室、第4実習室 【国科医学・歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 の関基準 (副)】 番名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床設計 歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床設計 歯・顎節面欠損と機能障害 5 全部床設計 歯・顎節面欠損と機能障害 5 全部床設計 歯・顎節面欠損と機能障害 5 全部床設計 歯・顎節面次損と機能障害 5 全部の設計 歯・頭面で損と機能障害 5 全部の設計 歯・変音が破別が 2 での製作	**************************************
2022/07/26(火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作(A班:第5実習室) B班 演種(PD集 採得の種類・方法)	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 【授業の一般目標】 無歯顎患者の筋圧形成と精密印象を正確に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材の所用性質、印象方法に関する知識、精密印象採得を安全に配慮しながら行う技能および態度をする。 無歯顎の精密印象で記録した解剖学的および機能的要件を正確に作業用模型に再現するために必要な知識、技能および態度を修得する。	*河相 安彦 *河相 安彦 *飯藤 *伊族 *大中 *大中 *大中 *大中 *石 *

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/26 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作(A班:第5実習室) B班 演習(印象		* 本 * 本 * 本 * 本 * 本 * 本 * 本 * 本
		【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間】・準備学修項目:精密印象採得・作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習実習書、Youtubeの予習項目(筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 全部床義歯による治療 に即象採得 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 全部床義歯による治療 を正床義歯による治療 と ニューター 大変に表している。 正アカリキュラム】 E 臨床歯学 E 3 歯と歯周組織の常態と疾患 E 3 4 b 歯質と歯の欠損の診断と治療 E 3 4 c 2 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	
2022/07/26 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-3】精密用 象の採得と作体研 集型の製資・・第5 講覧の振ります。 第5 講覧の表す。 第5 講覧の表す。 第123日4時 (8月23日4時 を参照)	⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/26(火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作(A班:第5実習室) B班 講義・実習の振り返り・記ートフォリオ記載(8月23日4時限目を参照)	5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*************************************
2022/08/23 (火) 1時限 09:00~10:30	【平常試験② (有床)】 (9:00-10:00)	【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1、支音装置について説明できる。 2、連結装置の口腔内部間象について説明可できる。 4、局局部床義値のアレレスサー安にに関わる情成要素を説明できる。 6、全部床義値の根形印象投得について説明できる。 6、全部床義値の概形印象投得について説明できる。 8、全部床義値の概形印象投得について説明できる。 8、全部床義値の概形印象投得について説明できる。 8、全部床義値の概形印象投得について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲: PD4~PD8、CD1~3, MCQ 40問 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301数室 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室】】 【国家試験出題基準(註)】 益治論理・治療 自動の欠損の題基準(副)】 香論(以) 情報と一般を 者と、 (国家試験出題基準(副)】 音論(以) 情報と (国家試験出題基準(副)】 音論(以) 情報と (国家試験出題基準(副)】 音論(以) 情報と (国家試験出題基準(副)】 音論(以) 情報と (国家試験出態を (国家試験出態と (国家、第5実習室)】 301数室 (国家、大田校型の股間) と機能障害 4 部分情の原則 5 音論(と) の。 (国家、大田校型の股間、 5 音音、由、大田校型の股間、 5 音音、由、大田校型のと関音のに 5 全部床義値 1 印象保得 2 面 歯と 個個人トレーの製作 2 の一般に 2 の一般に 2 の一般に 2 の一般に 3 の一般に 4 面の欠損、動質を 4 面ののと 5 全部床義値 5 音音を 6 可能性義値の外提過値の外提過値の外提過できる。 6 回面を 6 の可能性義値の要素計算則を認明を 7 と の。 6 可能性義値の要素計算則を認明を 7 と の。 7 の。 8 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
2022/08/23 (火) 2時限 10:40~12:10	平常試験②の振り返り	【授業の一般目標】 平常試験②の振り返り・フィードバックを行うことにより、これまでに学修した内容の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 支台装置について説明できる。 3. 連結装置の口腔内前処置について説明できる。 4. 有床義歯の口腔内前処置について説明できる。 5. 局部床義歯の才と一ムワークについて説明できる。 6. 局部床義歯のフレームワークについて説明できる。 7. 全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康 *大久保 恭代 *大小出 亜 *五十嵐 - 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/23(火) 2時限 10:40~12:10	平常試験②の振り 返り	8. 全部床義歯の概形印象採得について説明できる。 9. 全部床義歯の精密印象採得について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 とくになし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ポートフォリオへの記載による振り返り 301教室	*河相 安彦 *飯壽 蒙康 *伊藤 誠 書和 *小出 燕代 *始木 亜憲太郎
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論総証 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療     基本的術式 d 歯の欠損の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学 含論 各論IV 歯で 歯・調顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 b 印象採得 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作	
		d サベイング、設計線の記入 e フレームワークの製作 5 全部床義歯による治療	
2022/08/23 (火) 3時限 13:10~14:40	演習 (印象採得の 種類・方法) (A 班:301教室) B班 【CD実-3】 精密印象の採得と 作業用度型の製作 (7月26日3・4時 限目を参照)	②可撤性義歯の製作過程を説明できる。  【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、無歯顎者の筋圧形成・精密印象採得に関する知識・技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 無歯顎者の筋圧形成について説明できる。 3. 印象材の種類を分類できる。 4. 印象採得の種類を分類できる。 5. 精密印象採得に用いる印象材を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:講義内容 (CD-1, 2, 3) の確認・復習 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:演習 (ワークブックによる課題) 【学修方略(LS)】 演習	*************************************
		【場所(教室/実習室)】301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/23(火) 4時限 14:50~16:20	講義・実では、 選の振ります。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作)の統合を行うために必要な知識・ 技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 無歯顎の概形印象採得について説明できる。 3. 研究用模型の製作方法について説明できる。 4. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:これまでに学修した内容(無歯顎者の概形印象・研究用模型の製作)の確認 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略(LS)】 【場所(教室/実習室)】 301数室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論(上、る治療 イ 臨床機作 し ロりまえる治療 イ 臨床操作 し コアカリキュラム】 E 臨床操作 【コアカリキュラム】 E 臨床操作 【コアカリキュラム】 E 臨床操作 の可軟性義歯(部分床義歯、全部床義歯) (⑤可軟性義歯(のの印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき	**************************************
2022/09/13 (火) 2時限 10:40~12:10	【CD-4】無歯顎の顎間関係の記録	る。  【授業の一般目標】 無歯類患者の顎間関係の記録を円滑に行うために必要な形態的および機能的な設定方法に関する知識、顎間関係の記録を安全に行う技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 仮想咬合子面の設定方を順序立て方説明できる。 4. 無歯顎の乗車直的咬合高径の設定方を列挙できる。 4. 無歯顎の水平的顎位の設定方を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学:5章および6章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学習媒体:授業プリント、PCでの解説 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 「衛科医学各論による治療 「整部床義値による治療 「臨床機作の記録 【国家試験出題基準(副)】 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義値による治療 「交部床養値による治療 「交部床養値による治療 「支部床養値による治療 「支部床養値による治療 「支部床養値による治療 「支部床養値による治療 「支部床養値による治療 「支部床養値による治療 「支部床養値による治療 「国家は験出題基準(副)】 と部床養値による治療 「空内治器表している。 「適方と解析と疾患 医・3・4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 医・3・4) (2) 可撤性養歯(部分床義歯、全部床義歯) (6) 可撤性養歯製作のかめの印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 (3) 調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	*河相 安彦
2022/09/13(火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-4】咬合床 の製作(A班:第5 実習室、B班:第4 実習室)	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録を正確に行うために必要な咬合床を製作するために 必要な規格、手順と材料の取り扱いに関する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康 *大久保 昌和 *中田 浩史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/13 (火) 3時限 13:10~14:40		1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 作業用模型に基準線を記入することができる。	**************************************
2022/09/13 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-4】咬合床の製作(A班:第5 実習室、B班:第4 実習室)	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録を正確に行うために必要な咬合床を製作するために必要な規格、手順と材料の取り扱いに関する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1、臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 作業用模型のブロックアウト・リリーフできる。 3. 作業用模型のブロックアウト・リリーフできる。 4. 咬合堤の標準形態を述べることができる。 5. 咬合床を製作することができる。 5. 咬合床を製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:咬合床の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 反転授業・実習実習事、Youtubeの予習項目(作業用模型へのブロックアウト・リリーフ、咬合床の製作) 【学修方略(LS)】  実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国科医学各論名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 在路床機作 c 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 と部・顎顔面欠損と機能障害 を部床表音による治療 を部床表音による治療 を部床表音による治療 を部床表音による治療 を部床表音による治療 のこかりきない。 「歯科医学各論名論IV 歯質・歯・顎顔面の大損と機能障害 を部床表音による治療	*************************************
2022/09/27 (火) 2時限 10:40~12:10	【CD-5】無歯顎の下顎運動の記録	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係の記録を円滑に行うために必要な形態的および機能的な設定方法に関する知識、顎間関係の記録を安全に行う技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 3. 無歯顎に設定する下顎位の方法を説明できる。 4. 無歯顎の下顎運動の記録することができる。 5. 下顎運動記録後の咬合器調節法を説明できる。	*河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/27(火) 2時限 10:40~12:10	【CD-5】無歯顎の下顎運動の記録	【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学:5章および6章	*河相 安彦
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:なし 学習媒体:授業プリント,PCでの解説	
		【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】	
		301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】	
		歯科医学各論各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	
2022/09/27(火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-5】顎間関係の記録・咬合器付着(A班:第5実	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎患者に適切な顎間関係を記録するために必要な理論と手技を修得する。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康
	習室) B班 演習 (顎間 関係の記録) (10 月11日3時限目を 参照)	【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 3. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。	*大久保 *中田 *中田 *古井 *治 *小出 *小出 *幼木 *鈴木
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書 および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	*五十嵐 憲太郎 *井上 正安 *小川 晃奈 *北村 彩 *木村 純
		・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習	*古賀 麻奈花 *佐藤 佳奈美 *佐藤 貴信 *小川 貴大
		実習書、Youtubeの予習項目(顎間関係の記録、咬合器への付着)      【学修方略(LS)】	(177) 東八
		実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節	
		【コアカリキュラム】  E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき	
		る。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	
2022/09/27(火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-5】顎間関 係の記録・咬合器 付着 (A班:第5実 習室)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎患者に適切な顎間関係を記録するために必要な理論と手技を修得する。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康 *大久保 昌和
	B班 講義・実習 の振り返り・ポー トフォリオ記載	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。	*中田 浩史 *石井 智浩 *小出 恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/27(火) 4時限	(10月11日4時限 目を参照)	3. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。	*鈴木 亜沙子 *五十嵐 憲太郎
14:50~16:20	H C 2 MV	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書 および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載	*井上 正安 *小川 晃奈 *北村 彩 *木村 純
		・準備学修時間:30分	* 木
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(顎間関係の記録、咬合器への付着)	*佐藤 貴信 *小川 貴大
		【学修方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室) 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	
		②。協の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ②可撤性義歯の製作過程を説明できる。	
2022/10/11 (火) 2時限 10:40~12:10	【PD-9】局部床義 歯のクラスプ・フ レームワークの試 適,オルタードキ ャスト印象法		*石井 智浩
	TY THINK	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 3. 可徹性部分床義歯のフレームワークの試適方法について説明できる。 4. 可徹性部分床義歯のフレームワークの試適に必要な器材を列挙できる。 5. オルタードキャスト印象法(模型改造印象法)について説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー:14章 (P122-127), 18章 (P169-171), 23 章 (P228-234)	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピア・インストラクション	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所 (教室/実習室) 】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d フレームワークの試適	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ②可撤性義歯の製作過程を説明できる。	
2022/10/11 (火)	演習(顎間関係の	【授業の一般目標】	*河相 安彦
3時限	記録)(A班:301	部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになる	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:10~14:40	教室) B班【CD実-5】顎 間骨器(のの記録・9 で うる。4時限目を参 照)	ために、顎間関係の記録に関する知識・技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯の分床が速による顎間関係の記録の違いを説明できる。 3. 咬合床の製作方法について説明できる。 4. 咬合床が自動での設定方法を説明できる。 5. 仮想咬合平面の設定方法を説明できる。 6. 垂直的顎間関係の設定方法を説明できる。 6. 垂直的顎間関係の設定方法を説明できる。 6. 垂直的顎間関係の設定方法を説明できる。 6. 垂直的顎間関係の設定方法を説明できる。 7. 水平的顎間関係の設定方法を説明できる。 (準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 演習(ワークブックによる課題) 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 諸経論(間、実際と学総療と学総療は、中歯内病式、療を上の方法を説明の方法を治療。 2 歯・歯の折式、療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学治療の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学 合論(以) 歯疾操作の前間域の記録 5 全部床養歯による治療 イ 臨床操作     顎間関係の記録 5 全部床養歯による治療 「    電床操作     顎間関係の記録 「    コアカリキュラム】 E 臨床歯ど 歯の欠損の診断と治療 「    コアカリキュラム】 E 臨床歯害国組織の常態と疾患 E - 3 - 4) - (2) 可散性義歯(部分床養歯、全部床養歯) ⑥可散性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	型
2022/10/11 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・実習の振フォ3 ・北載(A班:3 01教 (A班:3 01教 (CD)実-5] 顎 間 関係 (9月27 日3・4時 限目を参 1 選	【授業の一般目標】 有床義歯補総治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (咬合床の製作・頭間関係の記録・咬合器への付着)の統合を行うために必要 な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.咬合床の製作方法について説明できる。 3.頭間関係の記録方法を説明できる。 3.頭間関係の記録方法を説明できる。 5.講義・実習を通じて学修した内容(咬合床の製作・顎間関係の記録・ 咬合器への付着)の確認 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目とに学修した内容(咬合床の製作・顎間関係の記録・ 咬合器への付着)の確認 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ボートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室) 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医で総論 総論(1)治療国織・咬合の治療 ア 基本的術式、 由 歯の欠損の題と機能障害 を 本のでは、の治療 【国系試験出題基準(副)】 富科医ア 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全体、	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/11 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・実習の振り 返り・ポ載 (A班:3 01教室) B班【CD実=5】顎 間関係の記録・9月27 日3・4時限目を参 照) 有:演習	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	*************************************
2022/10/18 (火) 2時限 10:40~12:10	【PD-10】局部床 義歯の咬合床の要件と製作・顎間関係の記録	【授業の一般目標】 部分庫外 指患者に適切な補綴歯科治療できるようになるために、局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得を行うのに必要な補綴学の知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 3. 局部床義歯の咬合床について説明できる。 4. 部分欠損ので育採得する下顎位と咬合器の調節を説明できる。 5. 部分欠損の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 (準備学修項目と準備学修時間) 、7章 (P59-65) ・準備学修時間:30分 【ずのティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略(LS)】 講義 (場所)教室、第5を習室 【国家試験出題基準(主)】 1	*伊藤 誠康
2022/10/18 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-9】クラス プ・フレームワー クの試適(A班: 第5実習室) B班【PD実-10】局 部床義歯の咬合床 の製作(10月18日 4時限目を参照)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療が行えるようになるために、クラスプ・フレームワークの試適に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 局部床義歯の咬合床の要件を述べることができる。 3. 局部床義歯の咬合床を製作できる 4. クラスプ・フレームワークの試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:クラスプ・フレームワークの試適に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(クラスプ・フレームワークの試適) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5 実習室、第4 実習室 【国家試験出題基準(主)】	**************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/18 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-9】クラスプ・フレームワークの試適(A班:第5実習室) B班【PD実-10】局 の製作(10月18日 4時限目を参照)	歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*************************************
2022/10/18 (火) 4時限 14:50~16:20	【PD実-10】局部 床義歯の咬合床の 製作(A班:第4実 習室) B班【PD実-9】ク ラスクの試適(10 月5日3時限目を参 照)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療が行えるようになるために、適切な咬合採得を円滑に行うのに必要な咬合床の製作方法に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 局部床義歯の咬合床の製件することができる。 3. 局部床義歯の咬合床を製作することができる。 4. クラスプ・フレームワークの試適ができる。 4. クラスプ・フレームワークの試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:咬合床の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 Youtubeの予習項目(咬合床の製作) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論N 歯寅・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 面質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 同類性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯関作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ②可撤性義歯の製作過程を説明できる。	**************************************
2022/10/25 (火) 2時限 10:40~12:10	【有床-1】有床表工菌・内の選択、咬合平衡の選択、咬合・中側の選択・関係の理論	部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになる	*河相 安彦 

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/25(火) 2時限 10:40~12:10	【有床-1】有床義 歯の人工歯・人工 歯の選択、咬合様 式・咬合平衡の理 論	【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 f 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)「(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ③人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	*河相 安彦 *伊藤 誠康 *五十嵐 憲太郎
2022/10/25 (火) 3時限 13:10~14:40	演習 (下顎運動・ (AT	【授業の一般目標】 部分歯列欠損制および無歯顎患者に適切な補緩歯科治療を実施できるようになるために、顎間関係の記録・下顎運動および顆路角の記録・調節に関する知識・技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1、臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2、顎間関係・下顎運動・顆路角の記録に関わる基準点と基準平面を説明できる。 3、フェイスボウランスフーについて説明できる。 5、顆路角のの記録・満方法を説明できる。 6. 咬合器への骨着方法を説明できる。 6. 咬合器への骨着方法を説明できる。 6. 咬合器への骨者方法を説明できる。 6. 咬合器への行力・対力・シスプーについて説明できる。 7. 準備学修時間:30分 【準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:演習 【場所(教室/実習室)】 301数室、第5実習室 【国家試験総論 で会の治療・歯歯の人損、即題基準(主)】 諸科医型・海療組織・咬合の治療・歯歯の人損、即と、一方の治療・歯の人損、即と、一方の治療・動物の治療・で、要が、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の治療・で、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の	*************************************
		⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	
2022/10/25 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・・記室 (A班: 3 の M	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (フレームワークの試適・咬合床の製作・フェイスボウトランスファー・顎間 関係の記録・咬合器への付着)の統合を行うために必要な知識・技術・態度を 修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. フレームワークの試適について説明できる。 3. 咬合床の製作方法について説明できる。 4. フェイスボウトランスファーについて説明できる。 5. 顎間関係の記録について説明できる。 6. 咬合器への付着について説明できる。 7. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:これまでに学修した内容(フレームワークの試適・咬合床の 製作・フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着)の確 認	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/25 (火) 4時限 14:50~16:20	は は は は は は は は は は は は は は	・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療     基本的術式     d 歯の欠損の治療 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 に学知識と問題対応能力 A-2 に対して表められる基本的な資質・能力 (1)必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題をを、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 《課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。	*************************************
2022/11/01 (火) 2時限 10:40~12:10	【有床-2】有床義 歯の人工歯排列お よび歯肉形成	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無齒顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、必要な人工歯排列に関する知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 有床義歯の歯肉形成について説明できる。 3. 有床義歯の歯肉形成について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間 3 0 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: ピア・インストラクション 【学修方略(LS)】講義 【場所(教室/実習室】 3 0 1 教室、第5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 歯・顎顔面欠損と機能障害 全部床表歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の類・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 【語科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床表歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の避水を論 日 衛子、領面の欠損と機能障害 5 全部操作	*河相 安彦 誠康
2022/11/01 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-11】局部 床義歯の顎間関係 の記録・フェイァー ボウトランスァー で合器・第5実(A班:第5実(A班:第5実) B班 演習(下顎調動・頼内の調節)(10月25日3 時限目を参照)	【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 咬合床を用いた局部床義歯の顎間関係記録ができる。 3. フェイスボウトランスファーができる。 4. 作業用模型を咬合器に付着できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/01 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実歯の (11] 局部 (日本) (12] 局部 (日本) (13] 局部 (日本) (14] 局部 (15] (15] 局部 (15] (15] (15] (15] (15] (15] (15] (15]	・準備学修時間:30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着)  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 301 教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論W 歯質・歯・顎鎖面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学を論 各論W 歯質・歯・顎鎖面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	*佐藤 貴大
2022/11/01 (火) 4時限 14:50~16:20	【PD	【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 咬合床を用いた局部床義歯の顎間関係記録ができる。 3. フェイスボウトランスファーができる。 4. 作業用模型を咬合器に付着できる。 【準備学修項目と 2 本イスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アカティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書、Youtubeの予習項目(フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載 ・ 準備学修時間:30分 【アカティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書、Youtubeの予習項目(フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着)】 【場所(教室/実習室】】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 情科医学各論 各論IV 歯養歯による治療 イ 臨床操作 c 頭間関係の記録 【国家試験出題基準(副)】 各論IV 歯養歯による治療 ク 技工操作 c 咬合器装着 ・ 調節 【国家大機作と機能障害 4 部分床養歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 E 臨床を プ 技工操作 と 一会器装着 ・ 調節 【国家は外間の言と疾患 と 3 歯と歯周組織の常態と疾患 と 3 歯と歯の大損の診断と治療 と 5 部床養歯による説明できる。 ② 画の大損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ③ 調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバト法を説明できる。	**************************************
2022/11/08(火) 2時限 10:40~12:10	演習(人工歯排列) グループ学修に関 する説明	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになる ために、人工歯排列に関する知識、技能、態度を習得する。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康 *大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/08 (火) 2時限 10:40~12:10	演習(人工歯排列) グループ学修に関 する説明	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 有床義歯の人工歯選択について説明できる。 3. 有床義歯の人工歯排列について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:講義内容(有床-1,2)の確認・復習 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	*中石小鈴五井上川村村賀藤本山村出木十上川村村賀藤藤山村村村賀藤藤本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本
		有: 演習 (ワークブックによる課題) 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】	*小川 貴大
		歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	
		5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ②可撤性義歯の製作過程を説明できる。	
2022/11/08 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-6】人工歯排列(前歯人工歯の排列)(A班:第4実習室、B班:第5実習室)	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎無歯 顎者に対する人工歯排列の知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 総義歯前歯部排列の順序を説明できる。 3. 総義歯前歯部排列の順序を説明できる。 4. 総義歯前歯部排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、 予習項目のボートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列)	*************************************
		【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「②人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	
2022/11/08 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-6】人工歯排列(前歯人工歯の排列)(A班:第4実習室、B班:第5実習室)		*河村島藤 宋 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/08 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-6】人工歯 排列(前歯人工歯 の排列)(A班: 第4実習室、B班: 第5実習室)	・準備学修項目:人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列)	*北村 *木村 彩純麻奈花 *佐藤 *佐藤 *小川 貴大
		【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床博学	
2022/11/15 (火) 2時限	咬合様式に関する 模型演習	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一切散性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、総義歯の咬	*石井 智浩 *小出 恭代
10:40~12:10		合様式を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 総義館の咬合様式とその意義を説明できる。 3. 両側性平衡咬合について説明できる。 (準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間:30分 「アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 演習 (体験学修) 【学修方略 (LS)】  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】  「歯科医学 各論 と部床義歯による治療 ク 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】  歯科医学 各論で 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E 3 歯と歯周組織の常態と疾患 E 3-4) 歯質と歯の対損の診断と治療 E 3-4) 電質と歯の大損の診断と治療 E 3-4) 同類性義歯、の穴境・表面、全部床義歯、全部床義歯、の可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	*五十嵐 憲太郎
2022/11/15 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-7】人工歯 排列(前歯人工歯 の排列・臼歯人工 歯の排列)(A班: 第5実習室、B班: 第4実習室)	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 総義歯臼歯部人工歯排列の要点を説明できる。 3. 総義歯臼歯部人工歯排列の順番を説明できる。 4. 総義歯臼歯部に付与する調節彎曲について説明できる。 5. 総義歯臼歯部の人工歯排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	 担当教員
2022/11/15 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-7】人工歯 排列(前歯人工菌の排列・臼歯人工 歯の排列・臼歯人工 歯の排列)(A班: 第5実習室)	実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯で 歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ③人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	*************************************
2022/11/15 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-7】人工歯 排列(前歯伝工 の排列・臼歯の排列・(AB班: 第5実習室) 第4実習室)	【授業の一般目標】 無歯関患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 総義歯臼歯部人工歯排列の順番を説明できる。 3. 総義歯臼歯部人工歯排列の順番を説明できる。 4. 総義歯臼歯部の人工歯排列を行うことができる。 4. 総義歯臼歯部の人工歯排列を行うことができる。 5. 総義歯臼歯部の人工歯排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各歯でも歯でもあいた損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操では、人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯の次損を診断と治療 E-3-4) ー(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯、全部床義歯) ③人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	**************************************
2022/11/22 (火) 2時限 10:40~12:10	【有床-3】全部 床養と可能の 分底で 対する が を を の の の の の の の の の の の の の の の の の	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、入う義歯の試適、埋没および重合ならびに重合義歯の咬合器再装着に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. ろう義歯試適時の診査項目を説明できる。 3. 有床義歯の埋没操作法を列挙できる。 4. 有床義歯のレジンの重合、取り出し、咬合器再装着までの流れを説明できる。 5. 埋没からレジンの重合、取り出し、咬合器再装着までの流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と無歯顎補綴治療学8章(P213-216)、9章(P217-228)、10章(P229-233)、歯学生のパーシャルデンチャー25章(P243-250) ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピア・インストラクション 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	*鈴木 亜沙子 *飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/22 (火) 2時限 10:40~12:10	【有床-3】 全部 床義歯と可撤性部 分床義歯のろう義 歯の試適,埋合器 再装着	5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「似質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「似質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「似質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「似質と歯の欠損の診断と治療	*鈴木 亜沙子 *飯島 守雄
2022/11/22 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-8】人工歯 排列(臼歯の排列)(A班: 第4実習室、B班: 第5実習室)	【授業の一般目標】 無歯類患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義 歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経験に基づができる。 3.総義歯の人工歯排列ができる。 4.総義歯のろう義歯の吹合調整ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:人工歯排列・歯内形成・ろう義歯の試適に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列・歯肉形成) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論の選択・排列・削合 【コ 臨床毒歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コ 臨床歯学 医・3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E・3-4) 歯質と歯の対した験患 E・3-4) 歯質と歯の対した験患 E・3-4) 歯質と歯の対した験患 E・3-4) 歯質と歯の対りた義歯、全部床義歯) 例人工歯の選択を説明できる。 ⑩人工歯の選択を説明できる。 ⑩人工歯の選択を説明できる。 ⑩人工歯の選択を説明できる。 ⑩人工歯の選択を説明できる。 ⑩の人工歯の選択を説明できる。 ⑩の人工歯の選択を説明できる。 ⑩の人工歯の選択を説明できる。	*************************************
2022/11/22 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-8】人工歯 排列(臼歯人工歯 の排列)(A班: 第4実習室、B班: 第5実習室)	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義 歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 総義歯の人工歯排列ができる。 3. 総義歯の人工歯排列ができる。 4. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯の試適に関する講義内容、 実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列・歯肉形成) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学容論・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/22(火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-8】人工歯 排列(臼歯人工歯 の排列)(A班: 第4実習室、B班: 第5実習室)	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一 (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ③人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	*************************************
2022/11/29(火) 2時限 10:40~12:10	有床関作過程 信以下 有床関の 有床関の 有床関の 有床関の 有床関の 有床関の 有床関の 有床関の	【授業の一般目標】部分歯列欠損および無齒顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、これまでに学修した内容(有床義歯の製作過程)の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経者および無歯顎者できる。3.有床義歯の製作過程と説明できる。3.有床義歯の製作過程と説明できる。4.有床義歯の製計の原則について説明できる。5.有床義歯の製計の原則について説明できる。5.有床義歯の製計の原則について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間講 ・実習で学修した内容の確認、エキスパートグループにおける課題内容の確認・実習で学修した内容の確認、エキスパートグループにおける課題内容の確認・準備学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有:グループ学修(エキスパートグループによるディスカッション)【学修方略(LS)】演習 【場所(教室/実習室】 【国教医学治療と関連を解決できる。第15実習室】 【国科医学治療の治療・進・歯内細微・咬合の治療を基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 に関連対応能力 A-2 に関連を解決する具体のな方法を発見し、実際性に照過を解決する具体のな方法を発見し、実際性に関連を解決できる。 ②課題を解決する具体のなみ科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題 ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	**************************************
2022/11/29 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-9】歯肉形成・咬合器再装着の準備(A班:第5実習室、B班:第4実習室)	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎無歯 顎者に対する歯肉形成・咬合器再装着に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯頸部の形態を付与することができる。 3. 歯根部の形態を適切に付与することができる。 6. S字状隆起と口蓋皺壁を適切に付与することができる。 6. S字状隆起と口蓋皺壁を適切に付与することができる。 7. テンチのコア法による咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間:30分 【準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/29 (火) 3時限 13:10~14:40	【CD実-9】歯肉形成・咬合器再装着の準備(A班:第5実習室、B班:第4実習室)	【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 e 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	*************************************
2022/11/29 (火) 4時限 14:50~16:20	【CD実-9】 歯肉形成・咳分器再装着の準備(A班:第5 実習室、B班:第4 実習室)	【授業の一般目標】 無菌顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎無歯 顎者に対する歯肉形成・咬合器再装着に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯頭部の形態を付与することができる。 3. 歯根部の形態を値付与することができる。 4. 床縁の形態を適切に付与することができる。 6. S字状隆起と口蓋鬱壁を適切に付与することができる。 7. テンチのコア法による咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間・ 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ありまてを授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(総義歯の人工歯排列) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯尿炎炎、実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 方 強防、養歯による治療 ウ 技工操作 e 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床養歯 こコカリキュラム】 E 臨床歯学 E 3 個と歯周組織の常態と疾患 E 3 4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E 3 4) 「カウス床義歯、全部床義歯) ③人工歯の選択を説明できる。 ①人工歯の選択を説明できる。 ①人工歯の選択を説明できる。 ①人工歯の選択を説明できる。 ①人工歯の選択を説明できる。 ②人工歯の選択を説明できる。 ②人工歯の選択を説明できる。 ①人工歯の選択を説明できる。 ③人工歯の選択を説明できる。 ③人工歯の選択を説明できる。 ③有ないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	*************************************
2022/12/06 (火) 2時限 10:40~12:10	有床義歯製作過程 に関するグループ 学修 補充実習 (B班)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、これまでに学修した内容(有床義歯の製作過程)の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 歯別欠損患者および無歯顎者の抱える問題点を考察できる。 3. 有床義歯の製作過程を説明できる。 4. 有床義歯の製作過程において必要な器具・材料を列挙できる。 5. 有床義歯の製計の原則について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目とでに講義・実習で学修した内容の確認、エキスパートグループにおける課題内容の確認 ・準備学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:グループ学修(エキスパートグループによるディスカッション) 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論III 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療	**************************************

【コアカリキュラム】

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/06(火) 2時限 10:40~12:10	有床義歯製作過程 に関するグループ 学修 補充実習 (B班)	A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-1) 課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-2-2) 学修の在り方 ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	*************************************
2022/12/06 (火) 3時限 13:10~14:40	【PD実-12】人工 歯排列・歯内形成・ スプルーイング) (A班:第4実習室) B班:第5実習室)	【授業の一般目標】 部分歯別欠損患者に対して適切な補級歯科治療が実施できるようになるために、局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 3. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 4. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・進備学修項目:人工歯排列・歯肉形成に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習事、Youtubeの予習項目(局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成) 【学修方略(LS)】  【学修方略(LS)】  【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床養歯による治療 ウ 技工操作 選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 4 部分床養歯による治療 ウ 技工操の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 4 部分床養歯による治療 ウ 技工操作	**************************************
2022/12/06 (火) 4時限 14:50~16:20	【PD実-12】人工 歯排列・歯肉形成・ スプルーイング) (A班:第4実習室、 B班:第5実習室)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対して適切な補綴歯科治療が実施できるようになるために、局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 3. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 4. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:人工歯排列・歯肉形成に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のボートフォリオへの記載 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室、第4実習室	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/06 (火) 4時限 14:50~16:20	【PD実-12】 人工 歯排列・歯内形成・ スプルーイング) (A班:第4実習室、 B班:第5実習室)	【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 f 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 g 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「領性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ③人工歯の選択を説明できる。 ①可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ①可撤性義歯の喫作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	*************************************
2022/12/13 (火) 2時限 10:40~12:10	有床関がループを表の準備	【授業の一般目標】 有床養歯補綴裝置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるために必要な知識、技能と態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.有床義歯の製作過程を詳細に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目と非備学修時間・生備学修可目:これまでの確認、エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループにおける課題内容の確認・エキスパートグループに対しておける事態を表しております。 (エアクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:301数室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表(zoonを用いたオンラインツアー形式)【学修方略(LS)】 (	**************************************
2022/12/13 (火) 3時限 13:10~14:40	演習 (咬合器再装着・埋没・重合) (A班:301教室) B班【有床実-1】 有床養歯の埋没・ レジンの填入・4 時限目を参照)	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、有床義歯の埋没・レジンの填入・重合に関する知識・技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. ろう義歯の埋没法について説明できる。 3. 義歯の重合の方法について説明できる。 4. 義歯床用材料の性質を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:講義内容(有床-3)の確認・復習・準備学修時間:30分	谷************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/13 (火) 3時限 13:10~14:40	(F)	【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論T 治療 治療 2 歯・尚周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 海賓・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分環境作 h 埋没、事合 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床 歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「②」 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ②可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	公本************************************
2022/12/13 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・実 (A班: 3 の (A班: 3 の (A班: 3 の )	「授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯の試適・咬合器再装着・埋没・重合)の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 人工歯排列について説明できる。 3. 歯肉形成について説明できる。 5. 義歯の埋没方法について説明できる。 6. 義歯床用レジンの填入・重合についを振り返る事ができる。 6. 義歯床用レジンの填入・重合について説明できる。 6. 義歯に関して学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・連備学修時間】・連備学修時間:30分 【事備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ボートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略(LS)】 (国家試験出題基準(主)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験治理治療・室習室 【国家試験治理治療・できるの治療 本前術式 は歯の欠損の治療 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 に関極を解決できる。 ② 書類を解決できる。 ② 課題を解決できる。 ② 課題を解決できる。 ④ 課題を解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤ 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	*************************************
2022/12/20 (火) 2時限 10:40~12:10	有床義歯製作過程 に関するグループ 発表・相互評価	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるため に必要な知識、技能と態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 有床義歯の製作過程を詳細に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:これまでに講義・実習で学修した内容の確認、ジグソーグループにおける発表の準備 ・準備学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表(zoomを用いたオンラ	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/20 (火) 2時限	有床義歯製作過程 に関するグループ	インツアー形式)	*小川 貴大
10:40~12:10	発表・相互評価	【学修方略(LS)】 演習	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d フレームワークの試適 e ろう義歯の試適 f 装着	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ②可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ③可撤性義歯の製作過程を説明できる。	
2022/12/20 (火) 3時限 13:10~14:40	【有床実-1】有床 義歯の埋没・レジ ンの填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康
13.10. ~14.40	(A班:第5実習室) B班:演習(咬合 器再装着・埋没・ 重合)(12月13日 3時限目を参照)	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 3. 流ろうができる。 4. 加熱重合レジンの填入ができる。 5. 加熱重合レジンの填入ができる。 6. 流し込レジンの填入ができる。 7. 流し込みレジンの重合ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:ろう義歯の埋没・流ろう・レジン填入・重合に関する講義内	*大久田井 *大久田井出木十上川村村 *水五十上川村村 *北木十上川村村村 *北木村賀 *北木村賀 *北木村賀 *北木村賀 *北木村賀
		容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習	*佐藤 貴信
		実習書、Youtubeの予習項目(埋没・流蝋・填入・重合) 【学修方略(LS)】 実習	
		   【場所 (教室/実習室)	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	
2022/12/20(火) 4時限 14:50~16:20	【有床実-1】有床 義歯の埋没・レジ ンの填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康
1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	(A班:第5実習室) B班:講義・実習 の振り返り・ポートフォリオ記載 (12月13日4時限 目を参照)	【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 3. 流ろうができる。 4. 加熱重合レジンの填入ができる。 5. 加熱重合レジンの重合ができる。	* 大 * 大 * 大 * 大 * 大 * 大 * 大 * 大

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/20(火) 時限 14:50~16:20	【有床実-1】有床 義歯の埋没・レジ ンの填入・重合	6. 流し込レジンの填入ができる。 7. 流し込みレジンの重合ができる。	*小川 晃奈 *北村 彩 *木村 純
	(A班:第5実習室) B班:講義・実習 の振り返り・ポー トフォリオ記載	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:ろう義歯の埋没・流ろう・レジン填入・重合に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	*古賀 麻奈花 *佐藤 佳奈美 *佐藤 貴信 *小川 貴大
	(12月13日4時限 目を参照)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(埋没・流蝋・填入・重合)	
		【学修方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	
2023/01/10(火) 2時限 10:40~12:10	【有床-4】 総義 歯と局部床義歯の 装着:調整・指導・ 効果	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。	*河相 安彦 *飯島 守雄
	<b></b>	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 完成義歯の検査材料を述べることができる。 3. 咬合検査の方法を述べることができる。 4. 完成義歯の装着時の診察項目を列挙できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 無歯顎補綴治療学:11章 (P234-243)、12章 (P244-262)、歯学生のパーシャルデンチャー:26章 (P251-258)、27章 (P259-262)、28章 (P263-273)	
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ピアインストラクション、場合により資料事前配布、反転授業を検討	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 f 装着	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着 g 咬合調整(削合)と仕上げ	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ③可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 ④可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	
2023/01/10(火) B時限  3:10~14:40	講義・実習の振り 返り・ポートフォ リオ記載(A班:3 01教室)	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (埋没・重合)の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康 *大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/01/10 (火) 3時限 13:10~14:40	】義歯の掘り出し・ 研磨 (1月10日4時 限目を参照)	1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 義歯の埋没方法について説明できる。 3. 義歯の重合の方法について説明できる。 4. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:これまでに学修した内容(埋没・重合)の確認 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション	*************************************
		【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療	
		【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-1) 課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すこかできる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	
2023/01/10 (火) 4時限 14:50~16:20	【有床実-2】義歯磨( の無班: 第5 9の振りまで、 第5 9の振りする 1月10日3時限 1月10日3時限 を参照)	【授業の一般目標】 部分菌列欠損および無菌類患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、レジン重合後の総義歯と局部床義歯ので安全なフラスキングおよび適切な研磨法に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 加熟宣合レジンの取り出しと研磨ができる。 3. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。 3. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:義歯の堀り出し・研磨に関する講義内容、実習書および予習動理備学修項目:義歯のポートフォリオへの記載・準備学修明 : 30分 【アクを受業・実習 実習 目のポートの有無・学修媒体等】 (アクを授業・実習 実習 「掘り出し・研磨) 【学修方略(LS)】 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家武験出題基準(主)】 歯科医学 各論の方法を指しよる治療・歯を養歯による治療・で含調整(削合)と仕上げ 【国家医学各論名論IV 歯養歯による治療・療の方法を養しまる治療・方を養しまる治療・歯・類顔面欠損と機能障害 2 部床養歯による治療・方を調整(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 「空合調整(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯ど 「こっかりまた治療	*************************************
2023/01/17 (火) 2時限 10:40~12:10	【有床-5】 総義 歯と局部床義歯の 装着後の経過観察 :変化・評価・ 修理・リライン	E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 義歯装着後の生体の変化を説明できる。 3. 義歯装着後の養歯の変化を説明できる。 4. 定期検査の重要性を説明できる。 6. 義歯の変化への対応を説明できる。 6. 義歯の変化への対応を説明できる。 6. 義歯の修理方法を述べることができる。 7. リラインとリベースの違いを述べることができる。	*河相 安彦 *飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
日付 2023/01/17 (火) 2時限 10:40~12:10	授業項目	授業内容等  8. リラインの適応症を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目と無歯顎補綴治療学:11章 (P234-243)、12章 (P244-262)、歯学生のパーシャルデンチャー:26章 (P251-258)、27章 (P259-262)、28章 (P263-273) ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】あり:ピアインストラクション、場合により資料事前配布、反転授業を検討【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメインテナンス b 残存組織の変化とその対応 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学格論 名論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 オ リコールとメインテナンス c 咬合の変化とその対応 力 治療効果の評価 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「関性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ③可撤性義歯の実者、調整を説明できる。 ③可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	<u>担当教員</u> *河相 安彦 *飯島 守雄
2023/01/17 (火) 3時限 13:10~14:40	【有床 1 表 2 表 3 表 3 表 3 表 3 表 6 表 5 表 5 表 6 表 5 表 5 表 6 表 5 表 5 表 6 表 5 表 7 表 6 表 5 表 7 表 6 表 5 表 7 表 7 表 7 表 7 表 7 表 7 表 7 表 7 表 7		**************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/01/17 (火) 4時限 14:50~16:20	【有床実-3】完成 義歯の口腔内試適・ 咬合器再表 (4班: 第5実習室) B班 編返・実習 の振りオリオ組時限 (1月24日4時限 を参照)	部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、完成した総義歯と局部床義歯の装着時の調整方法に関する知識・技能・態度について修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 総義歯の口腔内試適ができる。 3. 局部床義歯の咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:義肢の装着と調整に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】有:反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目(口腔内装着・咬合器再装着)	*************************************
		【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ 4 部分床義歯による治療 「臨床操作 「装着 5 全部床義歯による治療 「臨床操作 と装着	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ④可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	
2023/01/24(火) 2時限 10:40~12:10	【平常試験⑤ (有床)】 (10:40~1 1:30) 11:30~ 平常試 験⑤解説・振り返り	【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.無歯顎の顎間関係の記録について説明できる。 2.無歯顎の下顎運動の記録について説明できる。 3.局部床義歯のフレームワーク試適・オルタードキャスト法について説明できる。 5.人工歯選択と咬合様式・咬合平衡について説明できる。 6.人工歯排列について説明できる。 7.ろう義歯の試適から埋没・重合・咬合器再装着への流れを説明できる。 8.有床義歯の装着と調整について説明できる。 9.有床義歯装着後の経過および対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲: CD4-5, PD9-10, 有床1-5, MCQ 45問	*河相 安彦 *河相 安彦 *伊島 · 一 *伊子 * · 一 * · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】なし 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療     基本的術式 d 歯の欠損の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 両質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/01/24 (火) 2時限 10:40~12:10	【平常試験⑤(有 床)】(10:40~1 1:30) 11:30~ 平常試 験⑤解説・振り返り	⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。	*河相 安彦 *飯島 守雄 *伊藤 誠康 *石井 智浩 *新木 亜沙子 *五十嵐 憲太郎
2023/01/24 (火) 3時限 13:10~14:40	演習(装・	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、有床義歯の装着後の患者指導および術後管理に関する知識・技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.義歯装着後の管理方法について説明できる。 3.義歯装着後の管理方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:演習(ワークブックによる課題) 【学修方略(LS)】 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国科医学各論 歯・顎顔面欠損と機能障害 者 補綴装置に対する指導 【歯科医学各論 歯・顎顔面欠損と機能障害 者 補綴装置に対する指導 「菌科医学各論 者・顎顔面欠損と機能障害 と 補綴装置に対する指導 「直科医学各論 方法 質 理 フロ腔機能向上に関する指導 ・栄養指導 カ治療効果の評価 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 同組織の常態と疾患と3-4)-(2) 可撤性義歯の次損の診断と治療 上3-4)-(2) 可撤性義歯の次者・ごうる。 ②可散性義歯のと、2・可撤性義歯のと、3・3・4・5・2・3・4・5・3・4・5・3・4・5・3・4・5・4・5・4・5・4・5・4・5	**************************************
2023/01/24 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・実習の振フ:3 01数室) 301数室 10数室 10数室 10点で 10点で 10点で 10点で 10点で 10点で 10点で 10点で	【授業の一般目標】 有床義歯補務治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容 (義歯の装着・調整・術後管理)の統合を行うために必要な知識・技術・態度 を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 有床義歯を装着時の調整方法を説明できる。 4. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 4. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:これまでに学修した内容(装着・装着後の調整・術後管理)の確認 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ボートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略(LS)】 (選習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 総論切り治療 【国家試験出題基準(主)】 総論でいた治療 は歯の欠損の治療 【コ 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2 に関題対応能力 A-2 に関題対応能力 A-2-1)課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/01/24 (火) 4時限 14:50~16:20	講義・実習の振り 返りオ記載 (A班:3 01教室) 南京 京成武道・前子 記述・削合・装・4時 限目を参照)	④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	*************************************

## クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*小見山 道(クラウンブリッジ補綴学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画及び処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*小見山 道、*小林 平、*若見 昌信、*鈴木 浩司、*飯田 崇、*大村 祐史、*淺野 隆、 *内堀 聡史、※*岩田 好弘、*岩﨑 正敏、*本田 実加、*加藤 由佳子、*増田 学、*生 田 真衣、*上里 ちひろ、*神山 裕名、*西森 秀太、*三浦 千晶、*安田 明弘、*阿部 圭甫、*中島 正、※渡辺 官、※髙橋 徹也、*青木 直子
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第6版 矢谷博文他 医歯薬出版株式会社
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①~⑤(有床義歯3回、クラウンブリッジ2回)の平均:50%),実習(補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価,実技試験およびPBLの評価など:50%)を最終評価とする。 講義・実習いずれかが合格点に達しない場合,評価点は60点未満とする。なお,平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また,不明な点があれば必ず質問し,疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。全部鋳造冠の製作法を通じて,適合の良い歯冠補綴物を製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず,口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。 【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に,歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用,正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。全部鋳造冠の作製過程および手技を学習し,臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は,歯科医として将来必ず役立つものであるので,進んで学習し実習を行うこと。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/16 (金) 2時限 10:40~12:10	クラウンブリッジ 補綴 ウラウン 前級 ウラウンブリッと リッジ クロ ウラウン ブリッジ のの ラウ アス は カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を理解する。 クラウンブリッジの生存率、治療失敗に関連するリスク因子について理解する。 クラウンブリッジの要件について理解する。 クラウンの種類と特徴、適応症について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を説明できる。 3. クラウンブリッジの生存率、治療失敗に関連するリスク因子を説明できる。 4. クラウンブリッジの要件を説明できる。 5. クラウンの種類と特徴、適応症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
		・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	
		マルチメディア、配付プリント、教科書	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ア 診察	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。	
2022/09/16 (金) 3時限 13:10~14:40	咬合・歯周組織の 正常像と咬合異常・ 咀嚼障害	【授業の一般目標】 種々の下顎位について理解する。 下顎運動範囲と基本的な下顎運動について理解する。 咬合異常・咀嚼障害の病因、病態、症状、徴候について理解する。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/16 (金) 3時限 13:10~14:40	咬合・歯周組織の 正常像と咬合異常・ 咀嚼障害	【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 種々の下顎位について説明できる。 3. 下顎運動範囲と基本的な下顎運動について説明できる。 4. 咬合異常・咀嚼障害の病因、病態、症状、徴候を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間:30分 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア,配付プリント,教科書	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	
2022/09/16 (金) 4時限 14:50~16:20	器具の配布 研究用模型の製作	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙する。 適切な既製トレーの選択ができる。 適切な予備印象採得を行うことができる。 適切な研究用模型を製作することができる。	* 小見山 道 * 小林 平昌信 * 等鈴田 浩司 * 新田 崇 * 大村 祐史
	2. 適切な既製トレーの選択ができる。 3. 適切な予備印象採得を行うことができる	1. クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙できる。	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
		【準備学修項目と準備学修時間】 授業項目に該当する実習書の範囲を熟読する。	*増田 学 *生田 真衣 *上里 ちひろ
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有:実習	*神山 裕名 *西森 秀太 *三浦 千晶
		【学修方略(LS)】 実習	* 安田 明弘   * 阿部 圭甫   * 中島 正
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	渡辺 官 髙橋 徹也 *青木 直子
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法	
		②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。	
2022/09/30 (金) 2時限 10:40~12:10	インフォームドコ ンセント 前処置 支台歯形成	【授業の一般目標】 インフォームドコンセントの基本的理念,治療の選択に影響する因子を理解する。 クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義,種類,内容について理解する。 支台歯形成の目的と原則,歯頚部辺縁形態の分類と適応,支台歯形成の手順,注意点を理解する。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インフォームドコンセントの基本的理念,治療の選択に影響する因子を説明できる。 3. クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義,種類,内容を説明できる。 4. 支台歯形成の目的と原則,歯頚部辺縁形態の分類と適応,支台歯形成の手順,注意点を説明できる。	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/30 (金) 2時限 10:40~12:10	1文来-4月 インフォームドコ ンセント 前処置 支台歯形成	【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習時間:30分 ・事後学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間:30分 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア,配付プリント,教科書  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療	12 日 教員 * 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘
2022/09/30 (金) 3時限 13:10~14:40	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な文支台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 適切な文台歯形成のためのパーの選択を行う。 3. クラウンの支台歯形成のためのパーの選択を行う。 3. クラウンの支台歯形成の手順を学ぶ。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な文台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学を論 各論IV (主)	*************************************
2022/09/30 (金) 4時限 14:50~16:20	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択をする。 3. 適切なクラウンの支台歯形成ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/30 (金) 4時限 14:50~16:20	支台歯形成	3 クラウンブリッ ジによる治療         イ 臨床操作         b 支台歯形成         【コアカリキュラム】         G 臨床実習         G-3 基本的臨床技能         ⑦歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。	**************************************
2022/10/07 (金) 2時限 10:40~12:10	印象採得プロンストレーション	【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材、印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解酸な的意義を理解する。 プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を理解する。 仮着用セメントの種類と特徴を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 印象用器材、印象法の種類と特徴を説明できる。 5. プロビジョナルレストレーションの種類と特徴を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションのの種類と制作方法を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションのの種類と制作方法を説明できる。 7. 仮着用セメントの種類と特徴を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 4. 歯肉圧排の目と準備学修時間】 - 事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 - 事後学習項目: 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 - 事後学習時間: 90分 【アクティブアア、配付プリント、教科書 【学修方略(LS)】  「業務 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 富倫部 歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床歯学 にコータラウンブリッジによる治療 「国家技術学に関いる材料と方法を説のラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説のプロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	*小見山 宗 * * * * * * * * * * * * * * * * * *
2022/10/07 (金) 3時限 13:10~14:40	プロビジョナルレ ストレーションの 製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2.歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/07 (金) 3時限 13:10~14:40	プロビジョナルレ ストレーションの 製作	【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 A 論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) ー (1) クラウンブリッジによる治療 (ププロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	*************************************
2022/10/07 (金) 4時限 14:50~16:20	プロビジョナルレストレーションの製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料,器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料,器具およびそれらの使用法を習得する。 2.歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料,器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 でプロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床操作 モ プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床操作 モ プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床場件 E-3-4) 面質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) の方りンプリッジによる治療 ①プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	*************************************
2022/10/14 (金) 2時限 10:40~12:10	診察・診断と感染 予防 治療計画を左右す る因子	【授業の一般目標】 名種検査の意義と内容を理解する。 競機能・咬合ならびに支台歯の評価・臨床診断について理解する。 競換予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策を理解する。 治療計画を左右する因子について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 各種検査の意義と内容を説明できる。 3. 顎機能・咬合ならびに支台歯の評価・臨床診断を説明できる。 4. 感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策について説明できる。 5. 治療計画を左右する因子について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・ ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事能学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 協質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 工治療計画の立案	*小見山 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/14 (金) 2時限 10:40~12:10	診察・診断と感染 予防 治療計画を左右す る因子	【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療 ①補綴治療に必要な診断情報の収集し、それにもとづく治療計画と装置の設計ができる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record 〈POMR〉)を説明できる	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/10/14 (金) 3時限 13:10~14:40	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 医-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ③研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	*************************************
2022/10/14 (金) 4時限 14:50~16:20	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 「印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧グラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑧グラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*************************************
2022/10/21 (金) 2時限 10:40~12:10	顎間関係の記録 (咬合採得) 患者情報の記録と 伝達	【授業の一般目標】 顎間関係の記録(咬合採得)の意義について理解する。 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 口腔内情報を記録する意義について理解する。 色調の選択と伝達方法について理解する。 歯の位置と形態の記録法について理解する。 【行動目標(SBOs)】	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/21 (金) 2時限 10:40~12:10	顎間関係の記録 (咬得) 患者情報の記録と 生産	1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎間関係の記録(咬合採得)の意義について説明できる。 3. 咬合採得する下顎位と咬合採得法について説明できる。 4. 咬合支持に応じた咬合接得法について説明できる。 5. 口腔内情報を記録する意義について説明できる。 6. 色調の選択と伝達方法について説明できる。 6. 色調の選択と伝達方法について説明できる。 7. 歯の位置と形態の記録法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。・事前学習項目: 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。・事後学習時間: 90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 「臨床操作質、臨床操作質、臨床操作質、ころより、質別関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯管 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) のラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑥色調選択(シェードテイキング)を説明できる。	*/ */ */ */ */ */ */ */ */ */ */ */ */ *
2022/10/21 (金) 3時限 13:10~14:40	個人トレーの製作精密印象採得作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 「ロ家採得 【コアカリキュラム】 E 臨床操作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) ガラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	*************************************
2022/10/21 (金) 4時限 14:50~16:20	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識,器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/21 (金) 4時限 14:50~16:20	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得	渡辺 官 髙橋 徹也 *青木 直子
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	
2022/10/28 (金) 2時限 10:40~12:10	作業模型の製作 ワックスパターン 形成	【授業の一般目標】 作業用模型の構成と要件を理解する。 模型材の種類と性質を理解する。 作業用模型の種類と特徴を理解する。 ワックスの種類と要件,取り扱い方法について理解する。 ワックスアップの方法と注意事項を理解する。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業用模型の構成と要件を説明できる。 3. 模型材の種類と性質を説明できる。 4. 作業用模型の種類と特徴を説明できる。 5. ワックスの種類と要件,取り扱い方法を説明できる。 6. ワックスアップの方法と注意事項を説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間:30分 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア,配付プリント,教科書	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	
2022/10/28 (金) 3時限 13:10~14:40	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具,材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。	* 小見山 道 * 小林 平 * 若見 昌信 * 鈴木 浩司 * 飯田 崇
		【行動目標(SBOs)】 1.正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2.作業模型製作に必要な器具,材料を説明できる。 3.作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
		【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具,材料について学ぶ。	*本田 実加
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室	*生田 真衣 *上里 ちひろ *神山 裕名
		【学修方略(LS)】 実習	*西森 秀山 *西森浦 千山 * 千山 * 千山
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	*阿部 圭甫 *中島 正 渡辺 官
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録	高橋 徹也 *青木 直子
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/28 (金) 3時限 13:10~14:40	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。     ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。     ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	**************************************
2022/10/28 (金) 4時限 14:50~16:20	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 化業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型製作のための要件について学ぶ。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。 【 アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【 学修方略(LS)】 実習 【 場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【 国家試験出題基準(主)】	*************************************
2022/11/04 (金) 2時限 10:40~12:10	【平常試験③ (クラウンブリッジ) 】・解説講義	【授業の一般目標】 平常試験までの授業内容を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 8回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題 【学修方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 (1)クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ④ブウウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/04 (金) 2時限 10:40~12:10	【平常試験③ (クラウンブリッジ) 】・解説講義	8クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/11/04 (金) 3時限 13:10~14:40	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 正確な作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作の必要な器具、材料について学ぶ。 作業模型製作のと要な器具、材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】  【学修方略(LS)】  実習 【場所(教室/実習室)】 301 教室、第5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論N 第頭面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 面質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*************************************
2022/11/04 (金) 4時限 14:50~16:20	作業模型の咬合器付着歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 (行動目標(SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 3. 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。 作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作のを必要な器具、材料について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第5 実習室 【国家試験出題基準(主)】  歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 α ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ε 臨 歯質と歯の欠損の診断と治療 Ε-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 Ε-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 ⑤クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑥ 研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑥ 研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑥ 研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	*************************************
2022/11/11 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合と下顎位	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】	* 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘
		1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 下顎位の名称を挙げ説明できる. 3. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる. 4. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる. 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/11 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合と下顎位	・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア,配付プリント,教科書  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】  歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/11/11 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 (準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 「アクティブラーニングの有無・学修媒体等】第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論い 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 こクラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。	*************************************
2022/11/11 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2.ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3.生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301数室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/11 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。	**************************************
2022/11/18 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合と下顎運動の 決定要素	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 3. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 4. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。	* 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間:30分 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア,配付プリント,教科書	
		有・下顎運動に関連する演習を行う。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	
2022/11/18 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。	*小見山 *小見山 平昌市 平昌市 *飯大田村 崇祐 *寒 *寒 *養 *大野
		2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。	*內岩岩本 #田崎田藤 #田崎田藤 #生田 **生田 **生田 **生田
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習	* * * * * * * * * * * * * *
		【場所(教室/実習室)】301教室、第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 を論い 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作	渡辺 官 髙橋 徹也 *青木 直子
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/18 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*************************************
2022/11/18 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3.生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 3.生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 2クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。	**************************************
2022/11/25 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合器	【授業の一般目標】 フェイスボウトランスファーとチェックバイトについて理解する。 パントグラフによる下顎運動の記録法について理解する。 咬合器の分類、特徴について理解する。 半調節性咬合器の調節方法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. フェイスボウトランスファーとチェックバイトを説明できる。 3. パントグラフによる下顎運動の記録法を説明できる。 4. 咬合器の分類、特徴を説明できる。 4. 咬合器の分類、特徴を説明できる。 5. 半調節性咬合器の調節方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分 ・事後学習時間:90分 ・事後学習時間:90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア、配付プリント、教科書 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/25 (金) 2時限 10:40~12:10	咬合器	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/11/25 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ 埋没・鋳造・研磨・ 試適	【授業の一般目標】 理没操作を適切に行うことができる。 埋決操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 の方ウンの口腔内試適が適切にできる。 の方ウンの口腔内試適が適切にできる。 の方ウンの口腔内試適が適切にできる。 (行動目標(SBOs)】 1.理没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作を適切に行うことができる。 3.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 8.仮着、装着に必要な器具および材料を適切にでき用できる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 8.仮着、装着に必要な器具および材料を適切にできれてきまた。 1. 「カラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできれていて学ぶ。 1. 「カーラウンの口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。 1. 「アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 「理没、鋳造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。 1. 「アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 1. 「国家試験出題基準(主)】 接利医学を育い歯・顎顔面欠損と機能障害 カーラウンブリッジによる治療 カーラウンブリッジによる治療 カーラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を説明できる。 (②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を説明できる。 (②クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*************************************
2022/11/25 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ埋没・鋳造・研磨・試適	【授業の一般目標】 理没操作を適切に行うことができる。 理没操作を適切に行うことができる。  鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 の	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/25 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ 埋没・鋳造・研磨・ 試適	E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	**************************************
2022/12/02 (金) 2時限 10:40~12:10	埋役・誘摩・熱処	【授業の一般目標】 埋没材の種類と性質を理解する。 埋没法を理解する。 鋳造品の種類と性質を理解する。 鋳造法の種類と方法を理解する。 鋳造法の種類と方法を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 埋没材の種類と性質を説明できる。 3. 埋没法を説明できる。 4. 鋳造用金属種と性質を説明できる。 6. 鋳造後の処理と研磨方法を説明できる。 6. 鋳造後の処理と研磨方法を説明できる。 6. 鋳造後の処理と研磨方法を説明できる。 4. 季前学習項目:数科書の関連項目を学修する。 - 事前学習項時間:30分 - 事後学習時間:90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【マルチメディア,配付プリント,教科書 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 番科医学な音論で、頭頭面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E 3 個と歯の栄養の診断と治療 E 3 - 4 ) 面質と歯の欠損の診断と治療 E 3 - 4 ) 面質と歯の欠損の診断と治療 E 3 - 4 ) 面質と歯の欠損の診断と治療 E 3 - 4 ) のラウンブリッジによる治療 (多 ) ラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*/ */ */ */ */ */ */ */ */ */
2022/12/02 (金) 3時限 13:10~14:40	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 の一方ウンの口腔内試適、仮着、装着が適切に使用することができる。 (看,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 (看)装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 6. 研磨操作の可磨操作が適切にで対料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切に使用できる。 8. 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 (準備学修項目と準備学修時間】 埋没,鋳造,研磨,口腔内試適,仮着,装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/02 (金) 3時限 13:10~14:40	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【場所(教室/実習室)】301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「カクラウンブリッジによる治療 (⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 (⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。) (⑫クラウンブリッジを装着人法を説明できる。)	************************************
2022/12/02 (金) 4時限 14:50~16:20	埋没・鋳造・研磨・	【授業の一般目標】  埋没操作を適切に行うことができる。  構造操作を適切に行うことができる。  構造操作を適切に行うことができる。  精造操作を適切に行きる。  精造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  の研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  の研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  の有着,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  (行動目標(SBOs)】  1. 埋没操作を適切に行うことができる。  2. 埋没操作を適切に行うことができる。  3. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。  3. 鋳造操作に必要な器具および材料を  6. 研磨操作に必要な器具および材料を  6. 研磨操作に必要な器具および材料を  6. 研磨操作に必要な器具および材料を  6. 研磨操作に必要な器具および材料を  8. 仮着,装着が適切に使用できる。  7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切に使用できる。  7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。  【準備学修項目と準備学時間)、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。  【東の講演・研磨・口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。  【東智学を方略(LS)】  実習  【場所(教室/実習室)】  3 0 1 教室、第 5 実習室  【国家試験出題基準(主)】  権科に、数室、第 5 実習室  【国家試験出題基準(主)】  を論IV 歯質・動・顎顔面欠損と機能障害  3 クラウンブリッジによる治療  ウ 技工中のクス法による製作  【コアカリキュラム】  E 臨床歯学  E - 3 歯と歯周組織の常態と疾患  E - 3 も 固とと療息  E - 3 - 4) 歯質と歯の大損の診断と治療  ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。  ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*************************************
2022/12/09 (金) 2時限 10:40~12:10	口腔内試適と装着 術後管理 装着後にその対応	【授業の一般目標】 クラウン試適時の調整手順・調整方法について理解する。 クラウン咬合面の調整方法について理解する。 各種歯科用セメントの特徴について理解する。 術後管理医装着後に発生する問題の原因,解決法について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウン対適時の調整手順・調整方法を説明できる。 3. クラウン咬合面の調整方法を説明できる。 4. 各種歯科用セメントの特徴をき説明できる。 5. 術後管理な事後に発生する問題の原因,解決法を説明できる。 6. 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法を説明できる。 7. 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法を説明できる。 (準備学修項目と準備学修時間】・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。・事後学習時間:90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】マルチメディア,配付プリント,教科書	* 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/09 (金) 2時限 10:40~12:10	口腔内試適と装着 術後管理 装着後に発生する 問題とその対応	【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 イ 臨床操作 i 装着  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 (⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 (⑪クラウンブリッジを著方法を説明できる。) (⑪クラウンブリッジを著後のメインテナンスの重要性を説明できる。) (⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。) (⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。) (⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。)	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/12/09 (金) 3時限 13:10~14:40	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋投操作を適切に行うことができる。 埋投操作を適切に行うことができる。 のの場合との要な器具および材料を適切に使用することができる。 のの場合との研磨操作が適場ないできる。 のの場合との研磨操作が適場ないできる。 ののできる。 ののできる。ののできる。 ののできる。ののできる。 ののできる。ののできる。 ののできる。ののできる。 ののできる。ののできる。 ののできる。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののできる。 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののできる。 のののでは、 のののでは、 のののできる。 のののでは、 のののでは、 のののできる。 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののできる。 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののできる。 のののでは、 のののでは、 のののできる。 のののでは、 のののでは、 のののできる。 ののののできる。 のののできる。 のののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 ののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 ののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 のののののできる。 のののののできる。	************************************
2022/12/09 (金) 4時限 14:50~16:20	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切に使用することができる。 (行動目標(SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作を適切にできる。 5. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切に使用できる。 8. 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。	*************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/09 (金) 4時限 14:50~16:20	埋没・鋳造・研磨・ 仮着・合着	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室	髙橋 徹也 *青木 直子
		【学修方略(LS)】 実習	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	
		3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作	
		【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明で	
0000/10/10 (A)	よのい、芸壮豆	「松光の 加口標」	**
2022/12/16(金) 2時限 10:40~12:10	レジン前装冠 ハイブリッド型コ ンポジットシン クラウン CAD/CAMによるク ラウンブリッジの 製作	【授業の一般目標】 レジン前装冠の利点,欠点,適応症を理解する。 前装材と金属の維持,結合方法について理解する。 前装部の製作について手順を理解する。 硬質レジンとハイブリッド型コンポジットレジンの違いを理解する。 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの利点,欠点,製作法を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。	* 小見山 道 * 飯田 崇 * 岩田 好弘
		【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. レジン前装冠の利点、欠点、適応症を説明できる。 3. 前装材と金属の維持、結合方法を説明できる。 4. 前装部の製作について手順を説明できる。 5. 硬質レジンとハイブリッド型コンポジットレジンの違いを説明できる。 6. ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの利点、欠点、製作法を理解する。	
		7. CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 8. CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間:30分 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア,配付プリント,教科書	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ア クラウンブリッジの設計	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	
2022/12/16(金) 3時限 13:10~14:40	埋没・鋳造・研磨・ 仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切にできる。 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。	*************************************
		【行動目標(SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切にできる。 8. 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。	************************************
		【準備学修項目と準備学修時間】 埋没,鋳造,研磨,口腔内試適,仮着,装着の操作や手順について学ぶ。	*
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	*青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/16 (金) 3時限 13:10~14:40	埋役・鋳造・研磨・仮着・合着	第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 「クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ②クラウンブリッジの装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。 ③クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
2022/12/16 (金) 4時限 14:50~16:20	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 理没操作を適切に行うことができる。 埋没操作を適切に行うことができる。 舞造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。適切に使用することができる。 のラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切に使用することができる。 (看,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 を着,装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 と理没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作を適切に行うことががお料を適切に使用できる。 5. 鋳造操作の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適,仮着,装着が適切に使用できる。 8. 仮着,装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 (単備学修項目と準備学修時間】 埋没,鋳造,研磨,口腔内試適,仮着,装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室	************************************
		【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 一 が クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	
2022/12/23 (金) 2時限 10:40~12:10	陶材焼付冠 オールセラミック 修復	【授業の一般目標】	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/23 (金) 2時限 10:40~12:10	陶材焼付冠 オールセラミック 修復	【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) っクラウンブリッジによる治療	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2022/12/23 (金) 3時限 13:10~14:40	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 「授業の一般目標】 「	************************************
2022/12/23 (金) 4時限 14:50~16:20	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製 作	【□アカリキュラム】	************************************

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/23 (金) 4時限 14:50~16:20	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑥色調選択 (シェードテイキング) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	************************************
2023/01/13 (金) 2時限 10:40~12:10	支台築造	【授業の一般目標】 支台築造の臨床的意義,選択基準を理解する。 築造窩洞形成の原則と手順を理解する。 支台築造の種類と方法を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 支台築造の臨床的意義,選択基準を説明できる。 3. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 4. 支台築造の種類と方法を説明できる。	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習項目:30分 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	
		マルチメディア,配付プリント,教科書 【学修方略(LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】	
		301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	
2023/01/13 (金) 3時限 13:10~14:40	レジン築造 支台歯形成	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信 *鈴木 浩司 *飯田 崇
		【行動目標(SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。	*大村 祐隆 * 八村 華
		【準備学修項目と準備学修時間】 築造について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室	*本田 *加藤 *増田 学 *生里 ちひろ
		【学修方略(LS)】 実習 【場所 <u>(</u> 教室/実習室)】	*神山 *西森 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
		301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造	*中島 正 渡辺 官 髙橋 徹也 *青木 直子
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/01/13 (金) 3時限 13:10~14:40	レジン築造 支台歯形成	E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	*************************************
2023/01/13 (金) 4時限 14:50~16:20	レジン築造支台歯形成	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 築造について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床歯学 こった強造 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E 3 歯と歯周組織の常態と疾患 E 3 4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E 3 4) のラウンブリッジによる治療 (③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	*************************************
2023/01/20 (金) 2時限 10:40~12:10	【平常試験④ (クラウンブ) ・解説講義	【授業の一般目標】 第1回平常試験から以降の講義内容について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 第1回平常試験以降の8回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題 【学修方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療	*小見山 道 *飯田 崇 *岩田 好弘
2023/01/20(金) 3時限 13:10~14:40	実習の総括	【授業の一般目標】 本実習での製作物の完成を実施する。	*小見山 道 *小林 平 *若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	実習の総括	【行動目標(SBOs)】 1.クラウン実習での製作物を完成させる。 【準備学修項目と準備学修時間】 特になし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習機材 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室/実習室】 【場所(教室/実習室)】 第1年 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療 ③クラウンブリッジによる補綴治療の書く基本的操作を実施できる。	*************************************
2023/01/20 (金) 4時限 14:50~16:20	製作物の完成	【授業の一般目標】 クラウン実習での製作物を完成させる。 【行動目標(SBOs)】 1. クラウン実習の製作物を完成させる。 【準備学修項目と準備学修時間】 特になし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習機材 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッ ジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 (②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM を含む)を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③支台等造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*************************************